(明治四十年十一月二十五日 第三種郵便物認可)

滿洲日報

發行人 印刷人 大連市東公園町 滿洲日報社 定價 一ヶ月 金一圓二十錢 廣告料 特別一行 金二圓六十錢

旅順高等公學 校々舍決る

開校された旅順高等公學校の校舍は元第二中學校を使用し師範學堂は寄宿舍に充て從來の第二中學校宿舍はその儘第二宿舍とする事となつた

顧の同道ができねば 調査員は引揚げる

リットン卿、北平で明言

▽……注目される滿洲國の出方

【北平十日發聯合】本日午前のリットン卿及び米國代表マックマン氏の張學良訪問は表面單なる儀禮と稱されてゐるが同十一時佛、獨、伊三代表の顧承王府に來着を待つて以上五代表及び張學良、顧維鈞の外絶對に人を避け五十分に亘り重要會議を議したが右は愈々調査員本來の目的の核心に觸れたものゝ如く更に顧維鈞の滿洲國入國拒絶問題に就ても或種の協議を遂げたものと觀られる

(北平十日發) リットン卿は滿洲國で顧維鈞の入國をあくまで拒否するなら調査員は引揚げの他なしと言明した

【北平十日發】リットン卿は滿洲國政府が顧維鈞を回避するとの報導に對し滿洲國の意見如何に係わらず顧維鈞を同道すると語つたと支那新聞は報じて居る、從つて謝外交總長の通告は何等功を奏せず滿洲國としての面目は失なはれたる結果となる模樣で、是に對し滿洲國が如何に出るか支那側は注目して居る

前半の報告書の作成に取掛かる

調査員列車中にて

【北平十日發】聯盟調査委員の報告書は北平視察を以てその前半を終り後半は滿洲視察を以て埋められるが五名の委員は吉田大使、顧維鈞の日支兩參與員をも加へず水入らずで既に津浦線列車中より草案起草に取掛つて居る、一行は上海、漢口、南京で國民政府當局各機關代表と會見、質問、意見の雨を浴び複雜な支那内政的關係から各代表の言は區々で少からず惱まされたが一行が受けた印象は上海戰事の因果關係と國有鐵道平漢線に依る北上が不能となつた事實の二つで、これは相當強く一行の頭にひゞいて居る模樣である

各地視察の結果

支那の現實を知つた

聯盟調査團某隨員談

【北平十日發】聯盟調査團某隨員は語る

平漢線による北上は支那側の希望により變更し無雜な津浦線によつたが之は不言の中に委員一行に對しては可成り深刻な印象を與へたやうである一行は蔣介石と會見したが蔣は餘り多くを語るを欲せず韓復榘の如きも病と稱して敬遠主義をとつたが之は日本側の感情を考慮したものとみえる排日は排外にあらずとし上海事件と滿洲事變は合併解決を要すとの標語は到處でみた流石この點は全國統一を思はしめたがさて一方其内容に立入つた質問を試みると何れもシドロモドロで一致するところはなく殊に某外國委員の如きは吾々は排外の調査員にあらず排日の眞相を問題にしてゐるのだとて皮肉られんとしたといふやうな事もあつた何れにしても各委員達には各地を視察すればする程支那の現實につき相當深く得るところがあつた模樣である

英公使の修正案に承諾の回訓を發す

外・陸兩相協議の結果 原案と大體相違なしと認め

【東京十日發】九日の停戰會議で日本側は第一案を受諾したが支那側はその字句の修正を要求せる爲めランプソン氏は更に修正案を提出した、依て重光公使は十日正午芳澤外相に請訓し來つた故芳澤外相は十日午後軍部と協議の上十日夜回訓する事となつた

右修正は些細な字句修正なれば原案の主旨が根本的に改變せざる限り右修正案を受諾すると期待される

【東京十日發】既報九日の停戰會議で英國公使は帝國政府は此の機會に於て日本軍は上海および其附近の事態が平常狀態に復するを待って一月二十八日以前の地點に撤收する用意ある事を聲明す、而して帝國政府は六月乃至それ以前に右の如き事態の改善を見ん事を希望す

との修正案を提示したるため芳澤外相は本日軍部との協議の結果右修正案は原案と本質的に異なるものでない事を認め調停者の立場も顧慮し修正案受諾に決し即時重光公使に回訓した

十一日の本會議で いよいよ手打せん

支那の内情も遷延不可能

【東京十日發】政府は停戰に關する英公使の修正案を受諾したので日本の關する限り會議も圓滿な解決に到達する見込が立つた、しかして支那の態度如何が會議成否の分岐點なるが支那の回訓も十日に到達し居る事なれば十一日午後三時からの正式會議は最も注目すべきである、支那の態度に鑑し外務當局は、支那内政事情もあり最早停戰會議の決裂乃至不成立を許さゞるものがあるから支那政府も承諾せんと見て居り十一日の會議を以ていよいよ手打ちとなるかと思はれる

支那軍の射撃を聯盟に報告

【ジュネーヴ九日發】本日國際聯盟日本代表部は聯盟事務總長ドラモンド氏に對して去る四月七日六十の支那兵は煕王廟北方の…

いよいよ解消か

缺損續きの米國船舶院

尨大な船腹を擁しながら毎年莫大な缺損續きでアメリカ政府の頭痛の種となつてゐる船舶院——これを解消してしまひ度いといふのが大統領フーヴァー氏の希望で…

大戰當時アメリカ政府はヨーロッパへ軍需品輸送の爲め滅茶々々に多數の船を建造した。この船舶の建造及び運用の目的を以て一九…六年に設立されたのがアメリカ船舶院である。これは政府の…にも屬せず獨立せる一機關…

獨大統領選擧

豫想は依然ヒ元帥

【ベルリン九日發】ドイツ大統領選擧第二回投票は十日行はれるが豫想左の如し

ヒンデンブルグ 二千萬票
ヒットラー 一千五百萬
テールマン 四百五十萬

大公使館十二の閉鎖を上院に勸告

米國の歳出節約案を國務卿

【ワシントン九日發】國務長官スチムソン氏は過般上院に對し歳出節約案に關し一般支出一割天引を行ふより大公使館十二及び領事館十四の閉館を斷行する方が寧ろ外交事務に支障を及ぼさずに節約効果を擧げ得べきことを勸告した

選擧法改正の爲

大調査委員會を設置

眼目は選擧費の輕減

【東京十日發】選擧制度の根本的改正を期する爲め政府は近く犬養首相を首班とする委員會を設けることゝなり内務省でも政府の内意を受けて愈々改正調査の準備を進める事となつた、今回の選擧法改正の眼目は現在の政治的缺陷除去に在り鈴木内相以下内務首腦部の行制度の下に於ては買收が必然條件となり事實上法定制限額をへて多額の選擧費を必要とした、つて政黨及び候補者共に選擧費調達に汲々とする處に發するとてゐるので改正の基準は選擧費の減少と選擧違反防止の二點におき研究を進める事に決定してゐる

公債發行豫定額

四億五千萬圓に達せん

市場公募は三千萬圓か

滿洲國を目差し

汽船會社の競爭進出

奉天の故宮博物館 長春に移す

鄭國務總理の意見で

奉天の大阪見本市

商内多く盛況

狙撃犯人死刑

總拜艦者

一萬七千九百餘名に達す

丸尾六十一翁 講演に來連

奉天丸遭難

軍部の不滿ますく激化

山本氏總裁說で

【東京十日發】滿鐵總裁更迭問題に關し荒木陸相は九日午後四時官邸に犬養首相を訪ひ内田伯の辭職は止むを得ずとするも滿洲問題中正に廟議の決定を見るべき重大問題あり、かつリットン卿以下の調査團も近く滿洲に行くので今暫らく留任を希望すと熱望したるに、犬養首相もこれを諒としたので軍部も進むものと見なし居…

山本(条)氏の諾否は未定

小川平吉氏談

山本氏、結局受諾か

病氣も五六日で快癒

【東京十日發】滿鐵後任總裁と見られてゐる山本条太郎氏は九日夜の首相との會見に於て意動き既に滿蒙政策の根本方針に向つて意見を交換した程であり又山本氏の痔疾も五、六日間で癒へる程度なれば山本氏としても結局受諾するものと見られてゐる

西園亭と南華園は結局營業繼續か

公園内料亭と市の計畫

大連市の中央公園改造は目下市理事者の手により計畫され着々設計進行中であるが、この改造に當り公園内に現存の醉月、西園亭、南華園の料理店並に飲食店を撤去すべきか存續すべきかが問題として殘されてゐる

表面に現はれた處によると前記三軒の中醉月に對しては風紀衞生上遺憾の多いとなし市役所、この點警察當局と多少折衝の餘地あるものといはれてゐる

大阪工業會滿洲視察團

奉天を視察

大阪工業會滿洲視察團一行は九日午後九時二十分着奉、ヤマトホテ…

愛國號三機 命名式

代々木練兵場で嚴に擧行

滿日各地版

上田部隊廿一勇士の壯嚴なる大隊葬
神佛兩式で鞍山練兵場にて執行
武勳永劫に輝やく

【鞍山】去る七日鞍山原駐地に凱旋した獨立守備隊第○隊は四洮線三紅口にて名譽の戰死を遂げた第三中隊河中伍長を始め敦化を出發海林を經てハルピンに至る間大小幾多の戰鬪に於て戰死した奈良曹長ら二十一體の遺骨は守備隊貴賓室に安置されてゐたが、九日午後三時より同隊練兵場に於て莊嚴なる大隊葬を執行した、練兵場東端に設けられた

祭壇には遺骨と寫眞が祀られ本溪湖及び蘇家屯、遼陽、鄭家屯等沿線各地より贈られたる生花、花籠二百餘個、弔旗十數流等はさしもに廣き練兵場をも埋めた定新森守備隊司令官代理菊池參謀大石橋岩田第三大隊長、第四大隊長代理江川中尉・海城野砲第二聯隊長代理小澤中尉、遼陽領事代理務部屋氏、製鐵所長伍堂理事等を長山署長、營口林署長、關東軍特始め鞍山地方事務所長小野寺清雄氏、松木署長、矢澤中學校長、日向小學校長、問野病院長等在鞍各團體代表及び時局委員會、同婦人會、在鄕軍人會員、實業靑年團員中學校生徒、小學校生徒、公學校生徒、普通學校生徒、一般市民等一千數百名參列し

神式　佛式にて告別式を行ふ、先づ梶野神職の修祓式行事獻饌あり、遼陽僧侶約二十名の讀經ありて上田大隊長、森守備隊司令官代理菊地參謀、小野寺時局委員會長、伍堂製鐵所長、奧村在鄕軍人分會長、長山領事代理、本溪湖地方事務所長、沿線各驛長代表、上田佐能、遼陽市民代表關屋所長等の弔詞あり、本庄軍司令官、內田滿鐵總裁山岡關東長官其他數十名の弔電朗讀ありて上田齋主玉串奉奠、燒香に續いて各團體代表の燒香あり香煙縷々として立ち昇り二十一勇士の告別式は壯嚴正裡に午後五時閉式した、上田大隊長の

弔詞　弔詞左の如し

維時昭和七年四月九日第六大隊將兵一同謹而故陸軍步兵曹長奈良五八君外二十名の英靈を祭る

昭和四年八月當大隊新設せらるゝや卿等は克く其の建設の事業に精勵し以て堅實精銳なる大隊の基礎を確立せしめたり

偶々滿洲事變勃發するや奉天、洮南、吉林、鄭家屯等の各地に昌圖の攻擊に參加し續て長春、轉戰し酷寒に堪へ困苦を忍び常に偉勳か奏したり

然るに三月四日鄭家屯東方三紅口附近の戰鬪に於て河口伍長戰死し大隊最初の犧牲者となり三月中旬以降四月上旬に亘る敦化海林の反吉林軍の掃蕩を實施するに方り特に選ばれて之に參加し行程正に六十里山間僻陬の地に於て戰鬪を交ふること十數度に及びしが卿等は常に勇戰奮鬪し遂に護國の鬼と化す

今や大隊は一部の任務を達したりと雖も其歡を分つべきや戰友の在らざるを如何にせむ

嗚呼悲哉

然りと雖も屍を馬革に包むは軍人の本懷とする所にして其の功績は滿洲新國家の上に燦として輝き八千萬同胞並に滿蒙三千萬民衆敬仰の的となる洵に餘榮ありと謂ふべく以て瞑すべきなり

茲に地を淸め壇を設けて大隊將兵の赤誠を捧ぐ

冀くは英魂來り饗けよ

昭和七年四月九日

獨立守備步兵第六大隊長　陸軍步兵中佐從五位勳四等功五級　上田利三郎

煙臺部隊の遺骨も合葬

【鞍山】鞍山獨立守備步兵第○隊の煙臺第○隊は去る三月二十一日南湖頭附近の戰鬪に於て中島伍長外三名及び同月二十四日梃子房南方高地附近の戰鬪に於て村田伍長外二名計七名の戰死者を出し遺骨は中隊本部に安置されてゐたが、九日鞍山守備隊練兵場に於て大隊葬告別式が執行されるので同日午後零時二十二分着列車にて來鞍した、驛頭には鞍山佛教團及時局委員會其他各團體多數出迎へ佛教團の讀經あり嚴かに守備隊本部に送られた

連山關守備隊の除隊兵出發
安東官民多數見送裡に

【安東】獨立守備第四大隊滿期兵除隊式は八日午前十時半から連山關に於て壯嚴裡に擧行されたが安東守備隊からは中野特務曹長外四十名、八日午前六時四十五分發列車で連山關に赴き參列、同日午後四時三十五分歸安、愈々九日午前十一時四十分發列車で安東官民多數の熱誠溢るゝ見送りを受けて萬歲聲裡に赴連の途に就いたが大連よりは船便で懷しの母國へ歸る事となつた、尙安東市民は一同に對して記念品を贈呈する事となり月番幹事白濱、鴨狩兩氏は去る七日守備隊を訪問、重任を果し無事歸國する勇士に對し挨拶を爲し記念品を贈呈した

撫順は卅四名除隊兵の出發

【撫順】撫順守備隊では九日午前九時川上中隊長以下將校士卒全員參列の下に營庭に於て莊嚴なる除隊式を擧行した、而して除隊兵四十七名中當地炭礦に就職した七名及び本夏迄居殘る看護兵を除く三十四名の勇士達は去る昭和四年十二月の入營以來滿二年四ケ月懷ひ出多き營舍に隊長以下の戰友に別れた惜みつゝも武運目出度く今日を限りに久方振りになつかしの故山に歸る喜びに溢れながら川上隊長を先頭に戰友並に一般市民男女學生團三千餘人の盛なる見送りを受けながら午後三時五十分撫順驛より乘車、發車に當り山岸伍長が除隊者一同に代つて市民に感謝すれば見送りの一同は一齊萬歲を唱へかくて萬歲々々の聲に送られながら一同凱旋の途についた

盛んな見送り裡に　熊岳城除隊兵の歸國

【熊岳城】熊岳城守備隊滿期除隊兵四十五名は昨年十一月除隊の筈の處滿洲事變のため今月迄延期さなつて時變中各地に轉戰し赫々たる勳功を輝かしてゐたがいよいよ九日滿期除隊となり第十六列車にて當地發歸國の途に就く事となり在鄕軍人を始め當地居住の多數官民、小學兒童、實習生、婦人會員等多數の盛大なる見送りを受け萬

遼陽入りの田中大使（右から二人目）

戶口調査を行ひ
匪賊の掃蕩を圖る

【撫順】撫順縣下の匪賊掃蕩に就ては清殷來張海鵬、王殿忠、于芷山の各討伐軍に於て極力賊團の殲滅に當つた結果漸次各部落とも平靜に歸しつゝあるが、四散したる賊等は尙三人五人と小部隊をなし或は便衣を裝ふて部落に潛伏し機會ある每に部落民を襲ひつゝある賊態にて却々根絕するに到らぬが今回縣公署では夏縣長の名を以て之が根絕をはかるべく縣下に匪賊搜査條令を布告し戶口調査を斷行して潛伏匪賊を檢擧するとともに憾を知りて賊を潛伏せしめたる者等は之を處罰することゝした

瓦房隊の滿期兵

【瓦房店】昨年九月滿洲事變勃發以來各地に轉戰幾度か生死の境を切り拔け燦たる勳功を樹てた勇士のうち伍長秋田智一郞外三十七名は滿期除隊となり九日午後二時廿分發列車で原隊千葉聯隊へ歸還の途についた、この日在住民は感激の淚に滿ち各學校生徒諸官衙各種團體一般市民老若男女黑山のやうに押しかけホームに見送つた、秋田伍長は滿期除隊兵を代表して丁寧に謝辭を述べて乘車、怒濤の如き萬歲の聲、日の丸の小國旗の波

……歲の聲に勇ましく出發した、因に居住民一同は往熊中特に殊勳を奏して國家のため奮戰した右四十五勇士のため八日午後四時三十分より倶樂部廣間に於て送別宴を開催し除隊に際し各兵士へ記念品を贈つた

安東經濟懇談會有志が組織
「明日の安東」打開檢討

【安東】新興滿洲國の成立により積極的に明日の安東打開に就いて眞劍な檢討を爲すべく市民有志より成る「安東經濟懇談會」が生れた、この會の主眼として此の種催しの通弊である形式を全然避けて終始一貫我が安東の爲めに努力猛進せんとしてゐるもので、要するに明日の安東も細胞である市民の活動力の有無に依つて左右されると言ふ點に設立の趣旨が存してゐる、當分の間定例會を月二回とし發會式は三月下旬東電に於て行はれたが愈々第一回懇談會は八日午後四時半から安東ホテルで
一、新國家の諸稅政策に就いて
一、安東背後地發展策に就いて
を討議した尙會員は左記十一氏を以て組織するが必要に應じて關係者の列席を求むるもので會員も公務を離れた個人的立場から健全なる討議を爲すものである

副領事笠原太郞氏、武知驛貨物主任、石井輪組理事、坂井鮮銀支店長、木村滿銀支店長、武由正隆支店長、山口國際運輸支店長、安東取引所來栖健助氏、新田商議書記長、小川勸業後長、加藤勸業係員

撫順の聯合運動會　五月下旬擧行

【撫順】撫順に於ける滿洲體育協會主催の日滿聯合國際大運動會は來る五月下旬頃永安臺運動場に於て日滿共同主催にて開催の豫定で九日午前九時から炭礦事務所樓上に於て兩國關係者の下打合を行つた、なほ右は兩國民の融和の一策でもあり競技種目は體操ダンス等のマスゲームを初め演技、武技・陸上競技、蹴球、機械體操等の運動競技や假裝行列等も催さるゝ模樣である

鞍山部隊の滿期兵出發

【鞍山】去る七日鞍山原駐隊に凱旋した第○隊の前期二年兵山田雄伍長ほか四十一名は敦化、海林、ハルピン等北滿各地に於て大小兵匪團を討伐して武勳功績を現はしたが九日滿期除隊となり鄕土に錦を飾ることが出來笑顏喜々として鞍山在住市民及び小中學校生徒等は日の丸の小旗を振りかざし歡呼の聲に送られ午前九時二十四分發列車にて出發した……の中を午前十一時大連に向つた

滿期兵に記念品贈呈

【鳳凰城】鴻邊郵便局長、原口驛長兩氏は八日午後在住民を代表して守備隊に曾我部隊長を訪ひ滿期兵四十五名に對在住民の心からなる記念品を贈呈した

兵匪に追はれ支那農民奉天へ
一日約千名に達す

【奉天】事變以來避難した支那人は一時奉天に於いて約十萬と稱されてゐたが、時局の落着くと共に漸次復歸するもの多く奉天の人口は舊態に復しつゝあるが、各地に跋扈する兵匪の難を避れて沿線各地の附屬地へ避難するもの激增しつゝあると共に漸次之等の農民は農耕を放棄して都會に集中する傾向あり、近來奉天驛に下車する之等支那農民は沿線附近は勿論或は遠く洮昂、四洮、瀋海沿線に及び奉天驛正午着の昂々溪發列車から背に荷を擔ひ一家を擧げて來奉する支那人の群が續々と續いてゐる各地から來奉する支那農民の數は一日約千名に達してゐるが、農村を捨て、都會集中激增に依り農耕期を控へて農村は徒らに疲勞する傾向に在り奉天省では目下之が對策に就き協議中である

吳殿臣の率ゆる匪賊に損害

【安東】川嶺子發、曾我部○隊發安東本隊あて鳩便によれば同○隊は主力を以て獅家堡子に向ひ敵の抵抗を撃破しつゝ急進した、敵の主力は後關家堡子より靉河を渡河し右岸に逃走した、敵に與へた損害は死傷者十五、馬五頭を鹵獲した、敵は吳殿臣の率ひる百四十名にして大刀會員も含まれてゐる、幸ひ我軍に損害なく中隊は正午川嶺子に歸還し南門家堡を經て歸鳳する

鳳凰城守備隊の吳殿臣賊團を擊破

【鳳凰城】頭目吳殿臣の率ゐる百二十名の匪賊の一團七日夜鳳城縣第一區舍屯（當地東南方約三里半）に現はれ漸次當地に接近の狀勢にあるとの情報に接した曾我部守備隊長は八日午前四時部下五十七名を率ゐて出動、午前十時頃舍屯の南方約一里の松樹嶺において右の匪賊團と遭遇し交戰約二時間にして敵は馬五を遺棄して前關家堡子方面へ敗走した、此の戰鬪においての敵の死傷は十五六名、幸ひに我れに損害なく同日午後三時意氣揚々歸隊した、尙鳳冠山田上警部以下二十五名、鳳凰城吉岡警部補以下十三名の移動警察隊も曾我部中隊と同時に出動しこの戰鬪に參加した

大堡方面の匪賊活躍

【鳳凰城】八日午前九時大堡よりの報告によれば察文輝の一隊三百名は七日午後五時鳳城縣第一區擺渡に移動し目下大堡駐在所を襲撃すべく畫策しつゝあり、また石頭城駐在徐文海の部下三百名八日午前四時鳳城縣第七區老邊溝にて匪首黃振山の率ひる四百名と衝突交戰し賊八名を捕虜として同日午前十一時石頭城に引揚げたが、捕虜八名は九日鳳凰城に押送する、また徐文海の部下劉の分隊は鳳城縣第一區湯件城に於て馬賊二名を捕虜として八日午前九時石頭城に引揚げた

孟家屯に匪賊

【長春】八日午後十一時三十分頃孟家屯鐵道北側警第一驛手李鴻吉（三二）方へ賊四名闖入しモーゼル拳銃を突付け金品を強要したので李は驚きの餘り賊の隙を見て脫出せんと戶に出ずれば外には三名の賊が見張李を無理矢理に屋內に入れロープを以て高手小手に縛りその邊にあつた約金換算にて百八十圓の金品を強奪何れにか逃走した

李福田の歸順

【鳳凰城】李福田は部下九名と共に各々裝塡せる拔身の拳銃を攜へ滿洲國の國旗を押立て八日鳳凰城守備隊へ出頭歸順を申出た

煙臺の凱旋祝

【遼陽】煙臺の在住者は今回北方から歸還の守備隊將士の爲め十日正午から凱旋祝賀會を開催すると

潛入した匪賊　自警團を狙擊

【撫順】八日午後七時十分頃當地大山坑裏手なる東劉山部落の自警團員四名が警戒中前方に擧動不審の二名が通りかゝつたので、直に之を誰何し近づかんとしたる所、兩賊名は矢庭に所持のモーゼル拳銃で警戒員を狙擊し先頭に進んでゐた曲鳳令（三〇）の右腋下に貫通銃創を負はせ楊柏堡方面に逃走したが、桑野司法主任以下時を移さず現場に急行犯人搜査に努むると同時に附屬地潛入に對し嚴重警戒した

李海靑部下二萬に達し不安なる農安城

【長春】蒙古軍傳枝隊の騎兵主力は八日伏龍泉を前進し逃走中の匪賊を追擊趙家店附近に於て戰鬪を交えたが匪賊一千名餘の內一隊は長嶺、長春縣方面に向け潰走した李海靑の率ゆる匪賊團は目下二萬に達し彭、王爾中將の討伐二ケ旅は王爺府に向ひ李海靑の主力は農安北方六十支里哈拉海城子に蟠居してゐる模樣である、偵農安は彼等の再襲擊を憂慮しつゝあるが農安現在の防備力は手薄でこれが安全を期するため騎馬隊四ケ營の增援を要求されてゐる

劉旅長に感狀

【長春】李海靑の率ゆる有力なる匪賊團に包圍され將に陷落の浮目を見んとした農安城をよく支持した上賊の一團長姜海東以下三十七名を逮捕した劉旅長は、張廷樞は農安を李海靑は長春を、李杜、丁超はハルピンを一擧に相連絡して

讀者慰安映畫會けふは鞍山

【鞍山】我が滿洲日報社では昨年九月事變勃發するや各地に特派員を派し兵匪掃蕩その他の活動寫眞を撮影し沿線各地に於て讀者慰安映畫會を開催し非常に好評を博しつゝあるが、鞍山支局では十一日午後七時より鞍山小學校講堂に於て讀者慰安映畫大會を開催するが無料一般の入場も歡迎する、因に場內整理として金十錢を申受けることになつてゐる、當日のプログラムは左の如し
一、遼西の掃匪　全五卷
一、兵匪　全一卷
一、滿洲國建國式　全三卷
一、滿洲國の產業側面　二卷

菅江中尉快癒

【長春】去月敦化襲擊事件の際不南賊彈のため重傷を負ふた菅江中尉外一名はその後湯崗子に於て入湯加療中であつたがこの程漸く步行に耐える程度になつたので八日午後七時着列車で歸長陸軍衞戍病院に入り全快を待つことゝなつた

星○隊分遣

【長春】吉敦沿線は依然共匪と不逞鮮人のためおびやかされてゐる關係上我軍ではその警戒に努めてゐるが星○隊は蛟河驛以東最も危險視されてゐる二道河、威虎嶺、黃泥河子にそれぞれ派遣駐屯せしむるところあつた

……占據するの計畫であつた事實を海東の自白によつて知つたが彼等のこの驚くべき暴擧を農安死守によつて瓦壞せしめた事を熙長官は非常に喜んでその將士に對し感狀と共に吉林大洋五千元を賞與として贈るところあつた、なほ農安守備兵現在は彈丸不足の實情にあるので吉林軍政廳より小銃彈三十萬發、迫擊砲彈一千を支給した

新義州に又天然痘

【安東】新義州府民は猩紅熱の猖獗に脅かされて居たが最近稍下火となつた所今度は天然痘患者の發生で又たもや一段の脅威を感じてゐる、數日前老松町に一名患者の發生を見大騷ぎをし附近住民に臨時種痘を施行したが七日更に梅枝町二番地金仁俊の次女貞玉（五つ）が警察官の檢疫調査に依り發見され大恐慌を來たしてゐる

沿線往來

▲小谷代議士　九日安奉線急行にて來奉
▲伊藤代議士　同上
▲宇佐美奉天事務所長　八日夜赴連
▲中山優氏（外務省囑託）　八日來奉
▲山崎遼陽領事　八日出奉九日歸遼
▲長山遼陽署長　九日鞍山守備隊慰靈祭參列のため同地往復
▲關屋遼陽地方事務所長　同上
▲渡邊德重氏（遼陽每日社長）　同上

曙の鐘（252）
勝利者（二）
倉田潮
河野想多畫

お夏が小さい手帳を取り出した のを見ると、あけみは笑ひながら
「何なの。それは」
と訊いて、その中に細かに書きこんである文字をのぞきこんだ。
「私、伊村さんの血統をしらべて來たのですわ。お嬢さん」
「氣が早いわれ」
さう云ひながら、あけみはお夏の心が讀めたやうな氣がした。お夏から考へると、今日自分が春木を見たので昔の戀がまたぶりかへすかもしれないと怖ろしく思はれるのだ。春木との戀がぶり返すのはお夏にとつては非常に危險である
で「この際」きつぱりと春木を思ひ切らせる爲に、伊村と結婚させてしまはうといふ肚なのだ。
「調べて見ると、伊村さんの家柄は隨分立派なものですわ」
とお夏は云つて、伊村が岡山の歷とした士族の家に生れてゐること、今でも里は大地主であり父は

……たのだ。戀敵のたえ子を立ち上れないほど慘忍に叩き錆してやつたのだ。だから、こゝいらで昔の戀をさつぱり手を切つてしまふのも惡くはない。
「お夏、それで伊村さんは役不足ぢやないの」
「伊村さんに不服があるものですか。持丸さんの云ふところによると、伊村さんは初戀なので、とつても熱烈にあなたのことを思つてゐるさうですもの」
昔見た伊村のユニホーム姿が思ひ出された。スマートなボディスイングで投げ出す球の早さや、敵を三振させた時の糸切齒を出して笑ふあどけないやうな顏も目に浮んだ。
「さうだ。思ひ切つて結婚してしまはう」
あけみはさう思つたが、すると思ひがけなく芳川の顏がぼんやりと心に現れて、恨むやうに彼女を見つめた。しかし、あけみは冷や

……縣會議員に出てゐること、姉妹が皆よいところにかたづいてゐることなぞを話した。
「何處からそんなことを聞き出して來たの」
「おデブさんに聞いたのですわ」
「持丸さんにまた逢つたの」
「實は逢つたのですの」
「私に內しよで逢つたのだわね」
「でも、お嬢さんの爲に、伊村さんのことを聞かうとして逢つたのですから……」とお夏は卓上の煙草箱からゲルベゾルテを一本つまみ取つて言葉をついだ「持丸さんも非常にお二人の結婚をのぞんでゐましたわ。先日お二人で並んでお歩きになつてゐるところを見てとても似合ふつて思はれたんですつて」
「持丸さんとお前の方が餘程似合ふぢやないの」
「蠶を二つ並べたやうですか」
「さうでもないわ」
と笑ひながら、あけみはお夏の云ふやうに思ひ切つて伊村と結婚してしまはうかと考へた。それは春木との戀を淸算してしまふことである。結婚すればもう春木の面影もさほど強く心に浮ばなくなるだらう。とにかく、春木との戀には勝たないまでも負けはしなかつ

かにまぼろしの芳川を見返して嘲笑つた。芳川なぞは何うにでもなる。文句なぞ云はせるものか。もし云ふならばおよりと一緒に牢舍にぶちこんでやるだけだ。
「お夏、私、伊村さんと明後日鎌倉に行く約束がしてあるのよ」
「では、その時結婚のことを御話しになられては……」
「いいえ、その前に持丸さんから話をして承知するか何うか訊いて貰つてくれない」
「かしこまりました」
とお夏はまた輝くやうな笑を浮べた。

新刊紹介

▲國際智識（四月號）國際聯盟と支那問題（石井菊次郞）上海事件の眞相（左近司政三）國家乂は政府の承認に就て（松原一雄）國際法上より滿洲國を論ず（泉哲）滿洲事變と國際聯盟（田川大吉郞）日支紛爭と日支貿易（高島誠一）聯盟規約十二講（横田喜三郎）盤谷國際阿片會議に列して（棟居俊一）國際關係記事（編輯部）資料＝上海事件調査委員會第二次乃第三次報告（定價四十錢、東京丸の內二の十二國際聯盟協會發行）

▲露語研究（四月創刊號）編輯者は先づ第一に初學者のための發音を十二分研究しそこで[illegible]ての出來榮へは美事ならのであると、更にロシヤ語の發達過程その特質（井田孝平）露語を硏究する日本人にとつての發音の難點及びその注意などがありその他中等のための和文露譯指針（定價三十五錢、東京市麴町區下二番町七〇南北書院發行）

▲關西文藝（四月號）建築學上の自明性（ハンス・コルネリアス、堀重三譯）混沌に白熱する文學價値（芝鳳太郞）斷章（藤田進一郞）八百米（長田重男）原始（福田定吉）背伸び（高橋康二）首鼠教員の氣持（田川正雄）乳房は赤い（渡邊幸一）どん底の泡盛（國吉眞正）定價二十錢、大阪市西區江戶堀下通四丁目關西文藝協會發行

▲赤い鳥（五月號）定價三十錢、東京府下西大久保四六一赤い鳥社發行

▲大乘（四月號）支那の將來定價四十五錢、京都伏見桃山三夜莊大乘社發行

▲同仁（四月號）定價二十錢、東京市神田區北神保町二十番地同仁會發行

▲理科教育（第四號）定價四十錢東京市小石川區雜司ケ谷町八七理科教育研究會發行

▲棋道（四月號）定價五十錢、東京市麴町區永田町二丁目一番地日本棋院發行

▲滿洲遞信協會雜誌（三月號）定價五十錢、大連市大廣場遞信局內滿洲遞信協會發行

▲石楠（四月號）定價五十錢、東京市外中野町西町四〇番地石楠社發行

▲川柳きやり（四月號）定價二十五錢、東京市四谷區寺町六番地川柳きやり吟社發行

▲水鳥（四月號）定價三十五錢、神戶市須磨區須宮町水鳥發行所

▲東亞（四月號）滿蒙建設と上海事件の特輯號、滿蒙新國家と農業問題（渡邊侃）滿洲金鑛の開發と露領の經驗（アノネルト）北海道屯田兵制度（上原轍三郞）滿蒙と農業植民（橋本傳左衞門）滿洲產業政策の一斷想（小島精一）支那國際共同管理論の檢討（江崎郁郞）上海を中心とする列國の企業（榛原茂樹）支那對支經濟絕交の階級性（田中忠夫）中國今日の匪患問題（宮脇賢之介）東亞の動き（長野朗）等々（定價五十錢、東京市麴町區內山下町一丁目一東亞經濟調查局發行）

▲働く婦人（四月號）社會時評（村井宗吉）働く婦人は今度の戰爭をどう見るか（入選九篇）三團體解散とその後……四月十日のために（細迫兼光）國際勞動者演劇デー……東京支部競演見物記……（生江健次）農民の饑餓・池田千代）創作七篇（定價二十五錢、東京市神田區美土代町四ノ五日本プロレタリア文化聯盟發行）

▲日支（四月號）新滿洲國の展望（赤木儀太郞）九國條約と日米見解の相違（汀影學人）三民主義崩壞の道程（坂西利八郞）滿洲開拓私案（姬野德一）新來者の眼に映る滿洲（トモヂロウ）定價三十錢、東京市神田町區三崎町三丁目日支問題研究會發行

けふの放送
大連 JQAK
十一日午後六時

▲ニュース
▲兒童科學講座「最近科學文明の概觀」（第三十三回）大連神明高等女學校大貫正
以下內地中繼（六時四十五分）
▲故大隈侯國民敬慕會式典狀況（日比谷より）「追慕の辭」若槻禮次郞、德富猪一郞、床次竹二郞
▲ラヂオドラマ「大隈重信」（中村吉藏作）（一）明治二十二年初秋外務大臣官邸（二）明治四十二年七月橫濱埠頭山、大隈重信（丸山定夫）英國公使フレーザー（伊藤晃一）加藤秘書官（島田敬一）青木次官（滝澤修）島尾小彌太（三島雅夫）副島種臣（中村榮二）海江田信義（小澤榮）西村茂樹（秋山〇三）原田一道（嵯峨善兵）後藤遞信大臣（大東鬼城）黑田總理大臣（菊波正之助）其他司令者（雪岡光次郞）其他解說群集大勢及男女大勢
▲講演（奉天より）
以下大連放送局より
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース
▲中國劇「珠簾寨」連東倶樂部々員…

滿洲日報

昭和七年四月十一日 (月曜日) 夕刊 第九千三百二十六號 (一)

日本の第一案採用に 支那は修正を要求

一時危機に瀕した本會議 英米の調停で双方請訓す

【上海九日發】本日の本會議は殘されたる唯一の問題たる我軍の撤退時期の問題につき討議を繼續した即ち七日の本會議で得た三案に關する我が代表の請訓に對し我政府は第一案を採用し

上海及び上海附近の狀態が平靜となり我居留民の生命財産保護に充分なりと認めらるゝ場合しかして斯くのごとき場合を六ケ月又はそれ以前に到來するものと期待し其の時において一月二十八日以前の線に撤收する

との日本側の聲明案につき討論したが支那側は第一案の聲明を發する事には贊成だが六ケ月を今少し短縮する事ならびに我聲明の字句及び文章を選ぶ事を主張し且つ右に代る代案を提出した之れに對し我代表は右代案の上程ならびに討議を拒絕した會議はまさに決裂に瀕したが此の時ランプソン英公使とジョンソン米公使の兩氏は交々發言して斡旋して討議を繼續した結果支那側屈服して第一案の字句を僅少修正して國民政府に請訓する事を約し我方は最後案に修正を許すか否かには重大なるため我態度を保留のまゝ次回は十一日午後三時開會と決し散會した我が代表部は帝國政府の意向により本日の回訓が最後案であり一歩も讓歩すべからずとの立前より支那側の非法の字句の修正を僅少なりとは云へ容認すべきや否やにつき午後七時から公使館で協議を遂げ午後七時四十分終了したが會議の經過及び修正點を政府に報告し同時に其取扱ひ方につき請訓した

次回は十一日

【上海九日發】第十四次日支停戰本會議散會後左のコムミユニケが發表された

本會議は午後五時から六時四十五分迄日本軍撤退最終時期に關する第一案につき問題の困難を除去すべく討議をなしたが次回は十一日午後三時から開會と決定した

第一案に對する支那の 修正要求の内容

【上海九日發】本日の會議で第一案に加へられた修正の要點は同案中に日本人居留民の生命財産並に生業の保護に關し安心を得る時期に至れば日本軍は一月二十八日以前の云々とある字句に對し支那側から右の字句を字義通り解するに於ては日支人間に個人的爭ひあるとか又は日本人旅行者が土匪に迫害された場合等も總て日本軍が永久に支那に駐兵する口實を與へる結果となるとて右の削除を要求し中立國側も中に立つて協議の結果一般的の字句を以て原文の意味を表現するを可なりとし日本人を外國人と訂正したものと確聞する

【上海十日發】支那側情報に依れば昨日の停戰會議でランプソン第一案審議に對し支那側の要求した修正は案文中の「六ケ月を四ケ月に」改める「希望」なる文句を「切望」に卽ち「ホープ」を「エッスペクト」に改める二點であると

注目される 張發奎の入滬

【上海十日發】南京に在つて蔣介石、李濟琛等と協議を續けてゐた張發奎は昨日上海に來たり郭泰祺、戴戟等と長時間の協議を遂げた、張發奎軍の滬寧線滬杭線配備振りに傳へられる折柄、長發奎の上海入りは頗る注目さる

所に訪ひ敬意を表するにとゞまる

抗日運動の 絕滅を上申

【上海九日發】上海官民代表者を網羅せる時局委員會は本日午後二時緊急會議を開き

一、一切の抗日運動を絕滅せしむる事

一、國際都市上海の恒久的安全を確保す

の二項の建議を決議し我が政府、軍部に上申した

滿洲はなほ秩序混亂 直に撤兵は困難

日本代表部の對聯盟聲明

【ジユネーヴ九日發】國際聯盟日本代表部は九日朝事務局に對し滿洲の一般的情勢並に日本軍撤退に關する理事會決議遂行の進展狀態を說明した長文の聲明書を提出した、その内容は發表されぬが滿洲の秩序混亂狀態に鑑み目下の處直に撤兵する事は不可能なる旨を言明したものと見られてゐる

九日着平のリ卿一行 十五日發、滿洲へ

五月上旬、朝鮮經由日本へ

【北平九日發】支那調査委員リツトン卿一行は九日午後三時二十分天津發同六時十五分當地に到着學良の案内にてペキンホテルに入つた。市中は國旗と歡迎幕で埋められ「嘗つて此の恥をすゝぐ」「中國民は生存のため日本軍國主義と戰ふ」等の字幕が飾り廣範圍の交通止めをやつた張學良は明日前大總統府懷仁堂で晚餐會を開き一行を招待し第一次の意思表示がある筈

【北平九日發】調査員一行は十五日當地發奉山線で滿洲に入り滿鐵、主要鐵道各地を視察し五月上旬頃吉長。東支。洮昂。四洮等滿洲國鮮經由若しくは大連發海路日本を正式に訪問し更に支那の海邊に來り調査報告書を作成する筈。張學良はいれ滿邊が北戴河に決定せん事を希望し居るが一行の說は青島說に傾いてゐる

公式外の招宴 を謝絕

【北平十日發】聯盟調査團は上海南京等に於ける支那側の宴會攻めにこりて北平では極力これらを避け專ら實質材料の蒐集に當る事となり招待の如きも目下のところ本日午後の張學良、顧維鈞、周大文市長各夫人主催の茶話會及び十一日の顧維鈞主任としての張學良主催の晚餐會が豫定に入れられてゐるだけである因に張學良主催の晚餐會は本日開催の筈のところ本日は日曜なるを以て顧維鈞の注意により急に右の如く變更されたゞ儀禮的に正午リツトン卿一行をその宿

『抵抗あるのみ』

蘇州戰線で蔡廷楷談

【上海十日發】蔡廷楷は蘇州の戰線において左の談話を發表した停戰會議は終始日本側に誠意なく徒らに引張り我民衆の意氣の沮喪するのと我軍隊の疲れるのを待つて居るのだこれ我咽喉の地たる上海に代表を留め東北を永久に占領ぜんとするためである我國はたゞ抵抗するあるのみだこれが唯一つの活路だ、我方から停戰會議を思切らないのは一つは政府の問題であるし一方列國の斡旋がある爲めだ然しこれも國民は決して中立國に賴れるものではない抗日の勝負は卽ち民族生死の別れるところだ全國民が一致して我等の背後に立ち共に國難に赴く事を確信す

十九路軍に 逃亡兵續出

【上海九日發】軍司令部九日午後五時半發表＝太倉には今尙相當有力なる第十九路軍駐屯しありて城外に在る第四十七師と對峙し居るも最近逃亡兵續出し黃渡の我守備隊に於て第十九路軍に屬する逃亡兵二十一名を捕縛せり捕虜は全部便衣を着し、小銃を攜へ手榴彈を有するものあり逃亡兵は多く南京人にしてその言に依れば最近拉致された諸兵は諸給與頗る不充分なる故その艱苦に耐えずして逃亡兵續出せり太倉にある間は主として土工に服し又時には何軍隊なるやを知らず友軍と戰闘ぜりと

日本側專門の 郵便局を設立

【上海九日發】懸案中であつた日本人の郵便物集配の爲めの獨立局設置に關し上海郵務總局は愈々虹口分局を設置するに決し五月八日から事務を開始するに決した、業務成績に徵し將來さらにこれを擴張し日本人部なる獨立部を設置するに決した

獨帝銀總裁 狙擊さる

【ベルリン九日發】ドイツ國立銀行總裁ルーテル博士は他のドイツ代表一行とバーゼルに赴くべく本日當地停車場に着いた際突如二名の壯漢にピストルで狙擊された幸ひに一彈は腕をかすめ輕傷を負つたのみであつた犯人は直に逮捕取調べの結果ウエルスル・ゲルトヘル及びローゼン博士といふものなる事判明したがその原因に就いては口を緘して一切自白しない

三宅關東軍參謀長の上京

關東軍參謀長三宅光治少將は六日午前八時卅分東京驛着列車で上京した、右は滿洲國承認問題、匪賊討伐問題、兵力問題其他當面の重要問題につき陸軍中央部及び政府と根本的打合をなすためであつて三、四日滯在の豫定であるがその行動は時節柄注目されてゐる、尙ほ同參謀長は近く中將進級後も現職に留まることに決定してゐる【寫眞】は三宅參謀長と出迎への令嬢、令孫【東京驛にて】

米大使館の 飮酒解禁

メロン新大使の英斷？

【ロンドン九日發】新任駐英アメリカ大使メロン氏は九日ウインザー宮殿で英國皇帝に信任狀を捧呈したが大使は着任早々「本國では禁酒法を施行してゐるが大使館では飮酒解禁だ」と謂つて社交界の話題となつてゐる

グルー新駐日 大使

ワシントン着

【ワシントン九日發】新任駐日大使ジヨセフ、グルー氏は本日ワシントン着一月間當地に留まり東洋問題に就き諸般の打合せを爲した後東京に向ふと

內滿無線は 試驗時代

荒川技師談

さきに奉天內地間の無線直通々話計畫その他に就いて調査に來滿した一行中の一人である遞信技師荒川大太郎氏は十日出帆ばいかる丸で歸國したが語る

私は一行中の下働きで監督の立場にある人はまだ奉天にゐますから計畫などに就ては全然知りません、然し新聞に試驗通話を

「勝田氏が最適任 黨人だとて差支へない」

總裁を辭退した山本氏の談

【東京十日發】滿鐵總裁就任の交涉を受けた山本条太郎氏は十一日痔疾治療のため帝大病院に入院する豫定であるためこれを理由として辭意相當かたく寧ろ勝田主計氏が適任なることを述べて居る位であるが、犬養首相は第一候補者として受諾せしむるに至るべく山本氏にして飽くまで固辭する場合第二の策を講ずることゝなるであらう首相と會見後山本氏は語る

滿鐵總裁に黨人がいけないと言ふ事はあるまい、滿鐵總裁には勝田主計氏より外に適當な人物はないではないか、まさか法律家を持つて行く譯にも行くまいではないか、犬養首相とは入院するから病氣の任に堪へぬ自分は十一日から痔の治療に入するからこれ以上會見の要はない、國策審議會の話しもあつたがこれは斷然斷つた、兎角人事は決定せぬといろ／＼の運動があつてうるさいものであるから暫く棚ざらしにして置くのもよい自分が前に滿鐵總裁になる時にも斷はるつもりで二ケ月も棚ざらしにして居たが前田氏に口說落されたのであつた、しかし今度はソンナ事はないよ

山本氏 兩相と會談

【東京十日發】犬養首相より滿鐵總裁の交涉を受けた山本条太郎氏は九日午後三時高橋藏相を訪問し秦拓相も加はり三氏鼎坐種々協議を行つた

內田總裁辭任に 軍部側は强硬に反對 首相に慰留盡力を希望

【東京十日發】內田總裁辭職問題に就いては軍部特に關東軍では同總裁こそは滿蒙政策遂行に就き圓滑なる理解をもつて進みつゝある途上にあるため同總裁の更迭には飽くまで反對し國家的見地から頑强なる意見を具陳して來たので荒木陸相はこれがため九日午後四時首相官邸に犬養首相を訪ひこの軍部の强硬意見を陳述して更に內田總裁引留に關して考慮を求めたこれに對し犬養首相は充分考慮する旨の回答をなした從つて軍部では首相は內田總裁に對し更に慰留の措置をとり內田總裁もこの懇請を容れ總局監察部調査員一行の滿洲巡去までその職に留まる事を希望してゐる

民政黨で調査 開始

議會で糾彈

【東京十日發】民政黨は最近內田江口滿鐵正副總裁の更迭に對する政府の失態を始め植民地人事行政に關する政府の暴狀を糺弾する爲め幹部間に、かゝる政府の失態に對しては重大なる滿蒙經營、植民地統治上到底默過する事が出來ないとして近く正式幹部會を開き委員を擧げ具體的調査を爲し五月の特別議會にて本問題で政府を徹底的に糾彈する筈

事件費を加へて 七年度豫算は十七億

赤字公債一億五千萬を發行

理論よりも實際 「先づ脚下を顧る」（下）

滿鐵社員會の動向

三、社員共同の福祉

昨年度、二十年勤續者に金盃贈與の件、月俸者と日給者の給與日を一率にしたことなどの如き行方で進み度い。

人事課長の親密な更迭と、その地位の關係などは充分研究すべきで、外國の會社では二十年以上も人事課長、勤めてゐるのが多く、その間給料は增しても他の椅子へ轉ぜしむる事をせず、地位に伴ふ細心な權威を保たせてゐるので、社員との間が二十年以上の關係で非常に密接だこんな點は學ぶべきである……といふ見地から

●會社人事政策の改善策研究

●會社が人員整理をなす場合はその理由を明示するやう進言すること

●給與問題の徹底的研究

●重役との座談會等を行つて上下の親睦理解を深める

●社員會は一社員の利害と雖も普遍性を有するものは共同の利害として扱ふこと、役員は充分にこれを考慮すること

等の申合せをなし特に組織部の活躍を期待することになつた。

四、聯合會の機能發揮

本部だけでなく、聯合會、分會あたりでも充分に働いてほしい。從來は本部中心になり過ぎて地方には熱がなかつた。直接に利害を共にし、自己の機關である以上、地方も本部ももつと協力提攜して諸般の事に當らうではないかといふので

●中央集權から地方分權へ漸進

●聯合會の增設（組織部にて研究）

●本部との連絡、交渉等を緊密にする

●沿線との往復に就ても考慮の餘地あり（庶務部にて研究）

等の各項を議した。

五、評議員會に就て

從來の例によると政府と野黨のやうな對立狀態を示して空氣が穩當を缺いてゐた。これは會の性質上止むを得ぬと云へばそれまでゝあるが、何とか親密に座談的な氣分で相談し合ふ方法はないか……といふ事が問題となつた。

それには充分に論議をする時間がない爲もあり、役員の說明はその立場上說明的になり評議員側はその揚足取りにかゝる嫌ひあつたので、今年からはお互に愼み和氣藹々と圓滑に議事を運びたいといふので

●討議に充分な時間を與へる

●場合によつては一日延期も辭せない

●評議員會を年二回開催してたいといふので

第一回の定時は豫決算を議し第二回は臨時として此時に研究繼續

議には決議しても、愼重を要する問題は豫備的討議にとゞめ未決の項の決議をなする事等の案が出た。

六、國際聯盟調査委員を迎ふ

一行の來滿に當り、社員會は昨年發の聲明書に添へてステートメントを提示する事を決定

七、各部の陣容に就いて

草案調査、編輯兩部長に委囑し、脫稿後改めて役員會を開くことになる。

時局後援會

在滿日本人時局後援會は十一日午後二時より大連市役所に於て常務委員會を開催

人事

▲梅谷光貞氏（海外移住組合理事）十日入港あ
▲若尾金造氏（山梨縣
▲折下吉延氏（東京帝
▲駒井初次郎氏
▲宗正雄氏（東京帝大
▲仙波久良氏（政友會
▲神奈川縣滿鮮工業視察
▲宮城縣出征軍人慰問
▲荒川大太郎氏（遞信
▲渡邊鋼門氏（遞信省

趙江省長代理 來長

旺んな滿蒙 移住熱

仙波代議士談

東亞の謎

國枝史郎

艦載高速艇顚覆し 四十三名が溺る
海兵必死の努力で七分間で救助
けさ大連埠頭の騒ぎ

十日午前九時卅二分軍艦足柄乘組員の面會その他のため同艦に赴かんとして五十名近い市民が埠頭十番バースから同艦々載高速艇に乘移つてゐたとき市民達には女子や子供が多かつたため水兵の制止も徹底せず一度にドッと乘込みしかも艇の片側だけに乘り移つたため突如艇は横倒しに顚覆アッと言ふ間に乘組んだ市民四十三名全部が水中に投げ出された、この不意の椿事に岸壁にあつた人々は大騒ぎを始め子供たけを乘せて乘り遅れた

母親達 にははや聲をあげて泣き出すものまであつたが、この椿事突發と同時に現場に居合せた同高速艇の水兵はじめ足柄、夕霧、長鯨、羽黒などの乘組水兵約十五名は全部素早く水中に飛込み中には軍服のまゝ水中にもぐり込んで救助につくすものがありこの水兵達の目覺ましい必死の努力で四十三名全部の遭難者が僅か七分で救出することが出來た、餘り突然の出來事に岸壁に堵をなして水面を見守つてゐた市民達は口々に水兵さん達の勇敢な活動振りに感歎の聲を放つてゐた、救ひ上げられた市民達は更に

海軍側 滿鐵埠頭詰所員水上署員等が懸命に協力してそれぐ適當の場所に運んで應急手當その他を施し一方臨港滿鐵公醫が逸早く現場に馳せつけて診察、更に堀江醫院大連醫院からも醫員看護婦が派遣、菊池海務局檢疫醫も急行それぞれ手分けして診察に當つた、この敏速な活動で遂に一名の犧牲者も出さず遭難者はそれぐ自宅に歸つたが、たゞ沙河口西町一九辻シヅエ（二七）さんだけは心臟が弱かつたゝめ一時心配されたが埠頭現業員詰所で手當の後生命大丈夫となつたので自宅に送られた

念のため 海底捜査

遭難者全部を救出後海軍および滿鐵では念のため乘客の遺失品を捜査かたぐ更に海底を捜査することになり双方から二名宛の潜水夫を水中に入れて直に捜査したが幸ひ水底に人影はなく正午捜査作業を終つた

申譯けない 岩越「足柄」副長語る

一方高速艇顚覆の報と共に足柄副長岩越海軍中佐は直に現場に馳せつけ救出の指揮に當つてゐたが一段落のついた後記者に恐縮の面持で語る

私達の監督不行屆から市民の方に非常な迷惑をかけて申しわけありません、新聞を通じて深くお詫びいたします、何分けふは海が餘りに靜かであつたので安心したのですが女學生の方が特に多いと聞いてゐましたので特に艇を二隻用意し一方に餘裕があるのでそちらに少し行つてもらう筈でしたが皆さんがそれを待たず一度にどつと乘り移られ、しかも馴れてゐられない關係から片側に寄られたのでこんなことになつたのでせう、本當に申しわけもありませんでした

遭難者

遭難者氏名判明の者左の如し
玉利直道、田中一雄、石原榮子、同靜男、早川重武、松岡滿雄、和田源平、同輝次、蒲生濱二、同清、佐野初雄、同マレ、小野昇、同芳野、高村菱六、同よし、同勇、同保、高松岩三、四本明、同彈次、上村茂喜、吉野只、秋原四郎、辻靜枝、同菊枝、同文雄、高眞直道、同トキ、山田圓次、井上龜次郎、同サモ、同光、高橋辰次、同トメノ、同清、同章、同良夫、同政子、同光子、同幸谷力

懷しい母國へ　宇治丸乘船の除隊兵

横領した一萬餘圓 悉く遊興に費やす
大連日本橋小學校の事務員 熊野けふも取調べ

大連日本橋尋常小學校事務員熊野喜代若（二八）に係る業務横領事件に關しては大連署司法係に於て吉富警部補がかゝりきりとなり十日も日曜日であるに拘らず午前十時より嚴重取調べを行つてゐるが手段方法頗る巧妙を極め内容また複雑してゐる爲め相當手古摺つてゐる模樣である、横領するに同人の横領費消した

金額は 教職員の規約貯金一萬三百圓、保護者會積立金一千圓、合計一萬一千三百圓と云はれ爲めに規約貯金、保護者會積立金は何れも殘額厘毛もない有樣となつた、同人は昭和五年四月前記小學校に事務員として雇はれ同六月ごろ妻女を離別したが空閨の淋しさに堪へず規約貯金等に積立金の事務を掌し居るを奇貨とし同九月ごろより之れを横領して遊里の巷に出入し曾ては平和街六八料理店出雲樓抱妓鈴富士丸に馴染んで二ケ月間同棲したる事もあり、その後も西檢、逢坂町遊廓、小崗子沙河口等の料理店を片つ端より泳ぎ廻り昨年三月倉井校長轉出し現越智校長來任に及んでも引續き遊蕩を續けて

表面を 胡麿化し更に改むる處なく流連荒亡を續け遂に前後數十回に亘り驚く大金を蕩盡したるが今回再び行はれた教員の異動により摘み殘して手渡すべき金に窮しいよくく罪業を悟り意を決し八日夜大連署へ自首したものである、署では引續き取調べ中で司法刑事は全員總出となり西檢に逢坂地遊廓に小崗子、沙河口料理店にそれぐ手分けし同人の遊興先調査のため活動を開始した

家宅捜査 僞造印押收 學校當局善後處置協議中

一方船曳刑事は午前十一時兒玉町三番地の同人官舍に至り家宅捜査の上現金約四十圓、華嚴、折鞄、同人名義の正隆銀行預金帳ならびに教職員の僞造印約十箇、犯行用に供する僞造捺印の白紙その他を押收して正午引揚げた、尚規約貯金は滿洲銀行預けとなり此處より隨時引出したものであるがその犯行交渉に就いては銀行休みの爲めまだ不明である、また學校當局ではこれが善後處置について協議中である

用度對大商ラグビー戰引分

滿鐵用度對大連商業のセブンアサイドラグビー戰は十日午前十時五十分より大連運動場に於て森高氏審判の下にキックオフしたが三對三で引分けとなる

滿鐵用度 3（0―0 3―3）3 大商

中條百合子 夫妻檢擧さる
プロ文化聯盟幹事 檢擧事件の關係者として

【東京特電十日發】日本共産黨の再建運動に對する彈壓から今回のプロ文化聯盟幹部檢擧事件の重大關係者として文化聯盟婦人委員長女流作家中條百合子女史（三三）及びその夫プロ作家同盟指導者理論家宮本健二（二七）並にプロ作家同盟中央委員兼ソロ寫眞家同盟中央委員長貴司山治と伊東好市（三一）は九日午後相前後して某署に檢擧され警視廳特高課で取調べを受けてゐる【寫眞は中條百合子女史】

それぐ異つた立場で 内地農民の滿洲移住研究
四專門家相携へてけふ來連
あめりか丸のお客樣

十日大連入港の定期船あめりか丸で海外移住組合聯合會理事前知事梅谷光貞氏、山梨縣拓務課若尾金造氏、東京帝大教授農學博士宗正雄氏、同講師折下吉延氏等が來連したが以上の四氏は大體滿洲において行動を共にしそれぐく異つた立場から内地農民の滿洲移住に就ての研究を行ふ筈である

梅谷光貞氏談

御承知の如く海外移住組合は全部政府が金を出してゐるのですが私は決して政府の命令で來たのではなく私の自由意志で視察に來たのです、何分大正九年に一度來たきりでしかも今や滿洲は形勢が一變しましたからやつて來たわけですが約一ケ月に亘つて南北滿洲を廻る積りです、そして將來開拓の餘地が多分に殘されてゐるのは北滿だと思ひますから特に北滿を充分に視察したい積りですが、出來得る限り滿洲國に對し日本民族發展上自分達は如何なる方法を執るのが適當であるかに就て研究を遂げたいと思つてゐます、内地農民の滿蒙移住熱は實に旺盛ですが移民といふ問題は實際問題として實に困難で治安や土地の位置等を充分に考慮しないと不可能であり、また政府が積極的に移民の保護政策をさらない以上成功は難かしいものです、然し滿洲は狀態も一變し商租權その他面倒な問題は今後は圓滿に解決を見ませうからさうした點での困難は完全に除去されませう

宗正雄博士談

滿洲は最初です、大學の命令で折下君と一緒に來たのですが幸ひ梅谷さん等とも一緒になりましたので多分行動を共にすることになりませう、私はその專門的な立場から日本農民の滿洲移民には如何なる土地でどうした組織の農業が必要であるかといふ點に就てその基礎調査を行ふことになつてゐます、勿論滿鐵で詳細な調査が出來てゐますがそれを讀んだだけではどうしても頭にはつきりと來ないしどうしても實地の調査が必要になつて來るのです、内地農民の移民熱は猛烈ですが具體化するうへには金が必要となりしかも一般に資本家の助は避けたいといふ希望でありますし、兎に角金をどうして作るかといふことでせう、なほ調査と共に卒業生の就職運動も依頼されてゐます

折下吉延氏談

私は農村經濟、農村計畫といつた點を技術的に視察する積りです、滿洲は最初です

若尾金造氏談

現鐵道次官若尾璋八氏の實弟若尾金造氏は山梨縣にあつて獻身的に農村經濟に當つてゐる熱心な農村政策の實際家であるが語る

山梨縣囑託として山梨縣農民の滿洲移民の根本調査を實際家の立場から行ひに來たのです、幸ひ權威ある人々と一緒になつたので行動を共にしたいと思つてゐます

滿鮮の工業視察へ 神奈川縣から

神奈川縣滿鮮工業視察團として同縣工業試驗場高田有吉、中村時定兩氏、橫濱輸出織物加工品同業組合高橋鑑吉、山下知之兩氏と橫濱商工會議所平川亮司氏の五氏が十日入港のあめりか丸で來連したが一行は語る

主要地では軍部と滿鐵に挨拶に伺ひますが視察の主要な目的です、橫濱の輸出品の滿洲方面への進展方策や橫濱での製品がどの程度まで滿洲ではけるかに就て約四週間滿洲各地を實際に調査するつもりです（寫眞は船上の一行）

宮崎縣出征軍人慰問使來る

宮崎縣出征軍人慰問使として宮崎縣會議員富田廣重、瀧谷新平、井上宗吉の三氏が十日入港のあめりか丸で來連した

船車連絡旅客二十七名

内地定期船あめりか丸は十日午前六時すぎ無事に大連港外着七時埠頭に到着したが同船による船車連絡奧地行乘客は計二十七名で直に埠頭引込列車に乘車九時大連發急行で奧地に向つた、なほ連絡旅客は長春行が最多で十三名である

故鄕に飾る武勳の錦
けふ獨立守備隊の滿期除隊兵 五百七十一名元氣で大連到着
驛頭に搖ぐ萬歲の聲

滿洲事變勃發の當初は北大營の激戰に或は又零下三十餘度の嚴北の寒夜に銃をとり、或は暴戻限りなき安奉沿線の匪賊討伐に身を挺して滿洲の第一線を守つた獨立守備隊第一、第二、第三、第四、第五の四個大隊の除隊兵五百七十一名は十日午前七時（四十五分遅延）及び八時着、兩列車で續團に錦を飾つて歸るべくその途路着連した、これよりさきこれ等

勇士が 武勳に輝く除隊の勇姿を一目なりとも迎へんものと鄕軍、多數の市民及び各男女中等學校、小學校の生徒等つめかけプラットホームを埋め列車の到着を待つ、兩列車プラットフォームに入るや數千の出迎人は破れんばかりに萬歲を叫ぶ、列車の窓からは眞新しい軍帽と軍服或は背廣又は袷服に着替へあふれんばかりの喜びの色をうかべた勇士が小旗を打ち振りながらこれに應へる、聲をからして居る、沿線各驛での歡迎に答へたためであらう、胸に輝く從軍の徽章と新しい

肩章が 讀々たる幾多の武勳を物語つて居る「獨立守備隊の歌」が新らしく作られた「凱旋の歌」が各所で起る、これに和して起る萬歲の聲その嵐が巷く、かくて輸送指揮官の合圖で下車、故國へのお土産物を入れたらしいトランクを各中等學校生徒の手で運び兵站支所の驛に一先づ落ちつき朝食をとり午後二時までの乘船の間を思ひ出深き滿洲の土地に最後の別れをすべく自由散策した

父母や妻子へ 慈愛の贈物？
けふ許りは陸海軍デー 賑つた大連の巷々

去る三日以來盛大に[illegible]中のわが聯合艦隊は軍艦十一日午前八時拔錨し、[illegible]た、十日はその最後の上陸日もあつて午前七時より第二[illegible]高以下二千二百餘名の[illegible]れ約三千五百餘名の海兵は喜び

勇んで 續々上陸、埠頭は[illegible]にも増して賑はつたが折から內地へ歸還する獨立守備隊の滿期兵も着連し、ここにも彼處にも海陸の交驩が行はれいやが上にも皇軍萬歲の雰圍氣に市中は高潮した、山縣通りから連鎖街へ浪速町通りから大廣場へ[illegible]故鄕への土産を求むる兵士の姿は三々伍々列をなしてその足どりの軽やかさよ！手にさげた紙包みは彼れ等海の勇士の美しき情の表徴である、遠く內地に彼等の歸りを待つ

故鄕の 父母或は妻子への慈愛の贈り物か？ペーヴメントを闊歩する彼等の靴音高らかに海の春風は彼等の心を躍らせる、歟へ、彼等の[illegible]を！彼等は今旅の地に別れを惜んで最後の五分間を樂しんでゐる樣に見える、[illegible]は[illegible]しい懷愁である、彼等を組み睦ひた語る共鳴した陸海兵は共に[illegible]想ひ出を抱いてカッターに依り歸艦する、埠頭は[illegible]は歡送の市民で埋められる軍港振りハンカチを振つて別れる哀愁！彼等は遂に去る

市中に 一抹の寂寥が[illegible]して……後には歡喜と惜別の民衆の聲が潮の風にのつてこだまする、なほ今日上陸した海兵は一部を殘して殆ど全部は正午にそれぐ所屬艦に歸還し午後五時には殘りの全部も悉く引き上げてしまふ筈である

警察官隊は無事 吉林に歸着

共産黨員逮捕のため盤石縣に出張中であつた、吉林總領事館警察署田中署長以下三十五名及び八日吉林發田中署長一行との聯絡を保持するため出發した松田部長一行等の警察官の動靜については八日午後一時に至り安全なる旨判明、九日午後一時全部吉林に無事歸着した爲共産黨員の爲め破壞された線道も電信電話も九日午前十時復舊開通を見るに至つた【長春電話】

天氣豫報 十一日
南の風曇 驟雨模樣

	十日午前十時	昨日最低
大連	一〇、二	四、三
旅順	九、四	四、五
營口	八、三	〇、〇
奉天	九、四	〇、二
長春	六、九	零下二、六

武門血笑記 (111)

下村悅夫作
布施長春挿畫

路傍の話(一)

梅つゆ照り上つた土用近い夏の日差しは、ギラ／＼と照り輝くやうに、すつと商家の立並んだ神田今川通りの賑やかな町筋を照らしてゐた。

白井作樂は、その烈しい日差しを避けてやつと日蔭の出來た許りの商家の軒の下に沿つて、路の片側を、急ぎ足に歩いてゐた。

町人髷に、前垂れ掛け、小脇に藤黄の風呂敷に包んだ刀箱を抱へてゐる仔細らしいその樣子は、どう見ても刀屋の番頭か手代と云つた格構。

作樂は、今日も山の手邊の大名屋敷を、武用件で二三軒、廻つて來たその歸り途であつた。

路上では、日盛りだと云ふのに町人、小者、小僧、駕籠屋、下女、浪人者、さうした人々が、汗たら／＼と流しながら、周章しさうに往來してゐた。作樂は、見るともなしに、その雑沓の樣子などながら、心の中で考へつゞけてゐた。

(こんなに忙しさうに雑沓してゐるが、今に討幕の大軍が押し寄せて來たら、この江戸の町はどうなるだらう)

作樂は半ば憐むやうな目付で、往來してゐる町人どもの姿を見た。

「いや、何事も時の力ぢや、今日會つて來た藩邸の同志の話でも、薩長藝の討幕聯盟は、確かなものだが、それにしても、他の大名達のあの引込みの附かぬ態は何だ、どんな風に諸藩が態度を決定するか？どんな風に世の中が變つて行くのか？」

作樂の靑年らしい空想は、それからそれへと飛んで行く——。

と、今しも作樂が鍛冶町通りの二丁目まで來た折り。颯と檜町から出て來て、作樂の視線を掠めた人物——。

(目明しの職五郎だ！)

作樂はかう思ふと同時に、咄嗟に反對の町角を廻つて、後も見ずに足早に十間あまり來ると、またふいと、檜町の小路に外れ、職人町に小さな通りを彼方に拔け、此方に拔けて居る內に、ふいと出て來た柳原川岸。

作樂は思ひ切つて、後を慕つて見たが、それらしい男もない。

「もう大丈夫だ」

心の中でかう呟くと、汗でだく／＼になつた身體を一休みさせやうと、柳の木の木蔭にあるところてん屋の葭簾張の小屋へ入つて行つた。

「お親爺、冷たい處を一本おくれ」

と、作樂は江戸前の句調。

「へえ、有難うございます、どうも、ひやえ處で」

作樂はところてん屋の親爺のお世辭を聞流して、床机に腰を下すと、懷から手拭を出して汗を拭つた。さうして、親爺が皿に入れて差出したところてんを一口ぱつくりと頰張つた丁度その途端、葭簾張りに黑い人影が差して、

「親父、暑いのにおせいが出るね」

と、云ひながら入つて來た職五

「お、、こりや松住町の親分、お久うございます、さあどうぞ」

と、ところてん屋の親父が選ひつくばふやうにして云ふのを

「いや、構はねえで置きな、一寸休ませて貰ふだけだから」

と、輕く押へて、作樂の方へ視線を移すと、にこ／＼笑ひながら

「旦那、ひどく歩かせるぢやありませんか、すつかり、草臥ちつちやつた」

と、作樂の掛けてゐる床机の隣りに、どつかりと腰を下した。

古賀聯隊

東活超特作品
大日活上映

物凄い戰爭記錄映畫である日本映畫史に記錄さるべき意氣深き記錄映畫の凱歌である、この作品はどうして斯くまで素晴らしい記錄映畫としての成功を納め得たか、これは一に關東軍司令部の後援とその正しき指導精神によるものだと言ひたい、關東軍司令部第四課の監修に當つた人々の努力の結晶である、勿論ガッチリした井手錦之助監督の手法と本多技師のカメラと出演俳優一同の熱誠による所も多いが、この一篇が斯くも記錄映畫として成功したのは繰返して言ふが正しき指導の賜物である、それに錦西の戰跡にロケーションした强味も見逃せないところで、ロケーションの强味を充分味はされる作品である

從來の滿洲事變映畫中、內地で製作されたセット中心の撮影は滿洲に對する認識不足も手傳つて、在滿邦人には何等の迫眞性無く徒らにお芝居を見せられたに過ぎなかつたが、この一篇は物凄い迫眞力を以て我々在滿邦人の胸に迫り來るものがある

その第一は關東軍の後援を得て遼西の凍原に自由自在に騎兵隊の特別出場を得て之をクラスクレ、日本の戰爭映畫に嘗て見ざる騎兵隊の嵐の如き襲擊、突貫をスクリーンに描き得た事である、演習映畫のネガを使用したやうな手緩さがない出場者は正義の銃をとつて遼西の凍原に奮戰したわが勇士の姿である

また關東軍で立案されたゞけに原作が實戰を基礎としたガッチリしたものである上に、井手監督の脚色もよく芝居氣を離れたところに實戰らしい重味と實感を盛り上げて終始たるみなく緊張して氣持の良いシナリオとなり、古賀聯隊の奮戰を弔ふのに適はしいものがあり、出演俳優一同の熱演も亦實に氣持よく、その中でも南光明の古賀聯隊長は全く適役で光つてゐる、その他エキストラのモップ・シーンも相當手際よく指導されてゐる

この一篇こそは恐らく東活始まつて以來の傑作であり、同時に映畫報國の意義を高調した作風を示した誇るべき時局軍事映畫として推賞さるべき作品である

『古賀聯隊』の讀者優待映畫會

明日から大日活にて

東活撮影隊が關東軍司令部指導の下に遠く來滿して決死的ロケーションを敢行して完成した井手錦之助監督 南光明主演作品「古賀聯隊」は在滿邦人必見の映畫として廣く之を紹介するために本社主催で既報の如く十一日から晝夜二回大日活にて觀賞會を催すが、同時に大衆的時代劇作品として好評の大衆文藝映畫本田美禪原作後藤岱山監督尾上菊太郎主演歌川絹枝助演「松蔭時雨」江戸篇及び新興キネマ現代劇作品入江一夫原作脚色木村莊十二監督杉狂兒主演徳川良子助演「陽氣な食客」を上映、入場料は一般階上七十錢、階下五十錢を本紙刷込み優待券を持參すれば階上五十錢階下三十錢に割引する

寶話

覽館が昨日から「空閑少佐」を封切したのをキッカケに明日から大日活で軍事映畫中の巨篇「古賀聯隊」▲また十四日からは帝國館が「血染の鐵筆」中央映畫館が「滿洲行進曲」と來週は軍事映畫週間となる▲それに面白いことは帝國館が大每、コロムビアで中央映畫館が大朝、ビクターの對立となり▲双方負けず劣らずタイアップの賑やかな宣傳戰になるらしい▲常盤座の河合ダンスは晝夜二回興行の豫定だつたところ▲全國どこでも晝間興行をしたことがないと、向ふから每日午後六時開演と印刷したビラを送つて來た▲この鼻柱の强さには常盤座も顏負けの形であるが、その上常盤座の入場料が安過ぎると苦情が來てゐる▲大日活をやめた石川天涯クンが組合館の世話で中央映畫館入りに內定したさうか

◇◇南光明の古賀聯隊長◇◇

東活軍事映畫「古賀聯隊」の古賀聯隊長に扮して南光明が悍馬に跨つて遼西の凍原に物凄く活躍してゐる(大日活上映)

ナゼ美味いは理論なり
ゼヒ美味くは實行なり

ぜひ美味くなら理論丈では埒あかぬ、外に道なし、たゞ只管縱橫に之を驅使せよ

宮内省御用達
味の素本舗 鈴木商店
東京 大阪 名古屋 上海 紐育

滿洲日報

（明治四十年十一月三日第三種郵便物認可）

昭和七年四月十一日　滿洲日報　（月曜日）　第九千三百二十六號　（一）

發行人 …… 編輯人 …… 印刷人 …… 大連市東公園町 …… 株式會社滿洲日報社

定價 一ヶ月 金一圓二十錢 …… 廣告料 普通一行 …… 特別一行 …… 場所指定 二割以上加算

多少の修正なれば日本も受諾せん
十日夜、外相より回訓

【東京十日發】九日の停戰會議で日本側は第一案を受諾したが支那側はその字句の修正を要求せる爲めランプソン氏は更に修正案を提出した、依て重光公使は十日正午芳澤外相に請訓し來つた故芳澤外相は十日午後軍部と協議の上十日夜回訓する事となつた

右修正は些細な字句修正なれば原案の主旨が根本的に改變せざる限り右修正案を受諾すると期待される

聯盟調査團一行の活動本舞臺に入る
九日北平着調査開始

【北平特電九日發】聯盟調査團は九日午後六時十五分着平多數衞兵保安隊私服巡警の嚴重警戒中を軍樂隊の華々しき奏樂裡に下車親く出迎への張學良、于學忠、周大文等軍、政各機關領袖を初め各團體代表數百名並に日英伊佛等各國公使館代表齊しくこれを歡迎、又問題の顧維鈞が緊張の面持でリットン卿以下を紹介張學良以下各代表と一々固い握手を交換の後リットン卿は張學良顧維鈞に左右を護られ自動車に搭乘直にフランス支那兩國旗を交叉し「歡迎國際聯盟調査團」の標語を掲げた北平飯店に入つた、調査團一行は今夜は休養し十日午前より萬壽山其他を見物後張學良の歡迎晩餐會に臨む筈で

あるが代表中には先般來全力を擧げて作成せる廣汎な支那側報告書

…に基き事件の直接責任者たる張學良自身の訴へを聽取すると同時に各種の手段に依る東北擾亂の事實並に排日貨懺等に就き日本側の證據材料をも受け之を以て一行の活動は愈々本筋に入り其の行動は極めて注目されるに至つた

リ卿の一行
學良を訪問

【北平十日發】リットン卿以下クローデル、シュネー三氏は本日午前十一時十五分張學良を綏靖公署に訪問し來平の挨拶を述べ種々懇談を遂げた後約三十分にして辭去したが今日は何等事件の核心には觸れなかつた模樣である

前半の報告書の作成に取掛かる
調査員列車中にて

【北平十日發】聯盟調査委員の報告書は北平視察を以てその前半を終り後半は滿洲視察を以て埋められるが五名の委員は吉田大使、顧維鈞の日支兩參與員をも加へず水入らずで既に津浦線列車中より草案起草に取掛つて居る、一行は上海、漢口、南京で國民政府當局各機關代表と會見、質問、意見の雨を浴び複雜な支那内政的關係から各代表の言は區々で少からず惱まされたが一行が受けた印象は上海戰事の因果關係と國有鐵道平漢線に依る北上が不能となつた事實の二つで、これは相當強く一行の頭にひゞいて居る模樣である

首藤理事歸連

【東京特電九日發】今回江口前副總裁に殉じて辭任した首藤理事は九日午後一時東京驛發急行で歸連の途についた

後任總裁に山本氏
首相、蹶起を促す

【東京九日發】犬養首相は山本条太郎氏を滿鐵總裁に起用するに決し九日午後八時半山本氏を密かに官邸に招き同氏の蹶起を促した結果、山本氏は考慮を約して辭去した、首相は軍部の反對あるも飽くまで同氏の蹶起を促す決意をしたので結局山本氏の就任を見るであらう

山本氏、結局受諾か
病氣も五六日で快癒

【東京十日發】滿鐵後任總裁と見られてゐる山本条太郎氏は九日夜の首相との會見に於て意動き既に滿蒙政策の根本方針に向つて意見を交換した程であり又山本氏の痔疾も五、六日間で癒へる程度なれば山本氏としても結局受諾するものと見られてゐる

荒木陸相談

【東京九日發】犬養首相と會見後荒木陸相は左の如く語つた
滿洲の時局は極めて重大な時であるから内田總裁も政府の慰留に應じて辭意を飜へされん事を希望して已まない内田總裁は政府の慰留に應じないであらうと傳へる者あるが政府は出來得る限りの方法を盡せば留任が絶對に不可能と云ふが如きは無いと信じて居る

軍部首腦者等
滿鐵幹部招待

【東京特電九日發】參謀本部眞崎次長ほか幹部將星は昨夜六時築地蜂龍に八田滿鐵副總裁を始め十河村上、竹中各理事、大淵支社長、平山庶務課長を招待、副總裁の就任を祝し時局に關する意見の交換を行ひたる後互に胸襟を開いて懇談九時驩談裡に散會した

山本(条)氏の
諾否は未定
小川平吉氏談

【東京十日發】十日午前十一時小川平吉氏は高橋藏相を訪問し三十分間會談後山本条太郎氏を私邸に訪問し會談した後小川氏は語る
山本君は明日頃入院する模樣だが此の方は大した事はない滿鐵總裁を受諾するかどうか山本君も決めてゐない黨内や軍部の事情を良く考慮した上何れかに決定する積りだらう

聲明書、意見書を關係方面に打電
滿鐵社員會幹事會

滿鐵社員會では江口前副總裁罷免の報を受けるや七日夜直に緊急役員會を開き更に八日、九日の兩日とも正午に役員會を開いて對策を練つてゐたが遂に沿線各地の幹事の參集を求め九日午後五時より大連社員倶樂部二階に臨時幹事會を開催、江口副總裁罷免に伴ふ社員會の態度決定に就いて協議した、當日の出席者は郡幹事長を始め幹事、部長等約三十名に達し當初から猛烈に議論が鬪はされ相當強硬論者も出で九時ごろ漸く散會を見たが結局全體の意見として左の如き社員會の聲明書および政府當路並に八田新副總裁宛の意見書を關係方面に打電することに決定、この際個人的にわたる内田總裁、江口前副總裁に對する留任運動は既報の如く行はないことに意見の一致を見た

●意●見●書●

東京電の傳ふる所に依れば會社現理事ゝ辭表提出に伴ひ後任重役運動猛烈なりとのことなるが全社員は會社の現狀に見て重役數の過多なることは却つて業務能率を妨ぐるものと信ず、會社は後任重役を補充せずして最も能率を擧げ得可きことは吾人の確信する所なり、殊に昨年の社員大會は部長制の採用に依りて…

●聲●明●書●

吾等三萬社員は滿鐵の重大性を痛感し、その特殊使命を體して日夜業務に精勵しつゝあり、然るに今回突如副總裁の異例的罷免を見る、是政黨政治の通弊たる、黨利黨略の露骨なる發現に非ざるやの疑念を濃厚ならしむ斯くては社業の健全なる發達を阻害し人心に惡影響を及ぼさむ事を怖れ衷心之を遺憾とす

而して意見書は九日夜直ちに首相、拓相、副總裁宛打電したが聲明書も十日中に首相、拓相、外相、陸相、鐵相、內相、阪谷滿蒙協會長內閣書記官長、關東長官、關東軍司令官宛打電の筈である、なほ右記の聲明は副總裁罷免に就ての理由原因等に就いての批判は行はずそれが及ぼす一般的影響を遺憾とするとの意味を強調してゐるが今回の罷免は政府が特種使命を持つ滿鐵副總裁を理由を明示せずして罷免したものとの見解から幹事會の空氣を相當硬化したものゝ如くである

江口前副總裁
退任の挨拶

【東京特電九日發】江口前滿鐵副總裁は九日正午滿鐵東京支社に赴き、大淵支社長附添ひ平山庶務、橋本總理課長ほか全社員に退任の挨拶をなした、尚江口氏は近く靜養のため轉地する筈である

顧氏一行の來滿を新政府正式に辭謝
九日南京政府に通達

滿洲國外交部總長謝介石氏は中華民國外交部總長羅文幹氏に宛九日日附を以て左の如く發電した【長春電話】

情報によれば貴國は正に顧維鈞氏を派して國際聯盟調査員と共に近く滿洲國に來るべき國際聯盟調査員と共に來滿の由なるが滿洲國三千萬民衆の總意により軍閥を驅除し崇高なる理想の下に新國家を建立したるが故に貴國に對しては極めて相互的和合關係をおさめることを欲し若し代表者或は當局の要人遣來せば正に禮を以て歡迎する筈なるところたゞ近來貴國が民衆に宣傳して我國を以て擬國家として退ぞけわが當局の人々を以て反逆と誣ひ爲めに當國民衆は貴國に對する感情を著しく刺戟しある折柄顧維鈞氏一行入京せば不逞の徒に種々の機會を與へその結果將來相互親善關係の阻害となるなきを保し難く、よつて貴總長より顧維鈞氏一行をして來滿せざるやうお取り計らひあり以て意外の事態を釀さゞるやう御承知ありたく右特に辭謝す、惡しからず御諒承を乞ふ四月九日

日支人共に今後猛省が必要
歸京を前に　松岡氏語る

【上海九日發】停戰交渉は愈々大詰になつて來たが當初は殆ど交渉開始の望みもなかつたのをケント號上の會議から停戰本會議へと、各國間を説き廻つて和平の空氣を釀成せしめ使節としての使命を果した松岡洋右氏は約五十日振りで明日の長崎丸で東京に歸る事となつたが本日左の如き感想を語つた
事件當初の目的は支那軍を驅逐してこれを達した譯だが、終局の目的を如何にするか前途に就いては樂觀とも悲觀とも言へない、適確たる見込みも持つて居ない、然し要は支那人の對日感情の改善にあると思ふ、此際支那軍に對して東亞の大局から又支那人の利益幸福から猛省を要求する、上海の在留邦人は國民外交の建前から外支人との交際をより厚くして上海人として利害共同の觀念を持ち各國人との間に溫い血が通つて居ると云ふ所迄行き度いものだ、今回の事件…

入超も最早や峠か
金輸再禁後の見越輸入一段落
殘るは今後の關稅改正

【東京九日發】上旬貿易は千七百二十六萬圓の入超で前月に比し一千萬圓以上の入超減を示したが其の主要原因は棉花輸入が五十萬ピクルと常態に復し前旬の約半額に減少した事に基く今年一月から三月迄は金輸出再禁止後の圓價先安を見越し盛に見越輸入が行はれたが其の後棉花に就しては新規買附けが全然見送られて居るので四月以降は從來の買附棉花が輸入されるにとゞまり又其の他商品も金再禁止後急騰した國內物價が最近逆轉低落しつゝある事情により輸入は漸減步調をとり入超も此の邊を境として漸次減少するものと觀られるしかし今後の注意を要するは關稅政策である、卽ち關稅が引上げらるれば見越し輸入行はれる懸念あるも次期議會も會期短いので關稅改正の發令以前にどれだけの見越し輸入が行はれるかである

いよく解消か
缺損續きの米國船舶院

尨大な船腹を擁しながら每年莫大な缺損續きでアメリカ政府の頭痛の種となつてゐる船舶院——これを解消してしまひ度いといふのが大統領フーヴアー氏の希望である

★

大戰當時アメリカ政府はヨーロッパへ軍需品輸送の爲め滅茶々々に多數の船を建造した。この船舶の建造及び運用の目的を以て一九一六年に設立されたのがアメリカ船舶院である。これは政府のどの省にも屬せず獨立せる一機關として…

ところが大戰が終了し海運界が閑散となると共に、元來が粗製濫造の船を擁へてゐるだけに船舶院はその運用に非常な困難を感ぜざるを得なくなつた。そこで役に立たぬボロ船は十把一からげにして賣船したり燒拂つたりし、幾分役に立つものは出來るだけこれを賣却することの新方針をとつてゐた。

★

船舶院設立以來昨年十一月初めまでに賣却された總隻數は一千九百四十六隻、その噸數一千四十萬九千二百六十六トンに上る。これを數字に就いて見ると、一昨年七月から昨年十一月までの賣却された船は九十二隻、この內六十七隻は解體されたのである。

★

現在ではどの位の船を持つてゐるかと云ふに、船舶院る分身で實際上の運用に當つてゐるマーチャント・フリート・コーポレーションが一九三一年十月卅一日現在管掌してゐるものは

鋼鐵船	三七六隻	三、二一五	千噸
コンクリート船	一	七	
木造船	四	一	
合計	三八一	三、二二三	

この內昨年十月末現在では二百三十三隻（百九十七萬トン）となつてゐた。

★

所謂云ふ狀態だから缺損はいつ。即ち六月末における損失と次の如くで、最近にその減少と共に缺損も漸減しつゝあるが、それでも一年二千萬弗に上るのである。

一九二四年	四一、〇…
二五年	三〇、…
二六年	二〇、…
二七年	一六、…
二八年	一六、…
二九年	一四、…
三〇年	一一、…
三一年	九、…

そこで大統領も愈々何とか…

…四月一日次の…さるべきだと信ずる。

★

昨年十二月、フーヴアー氏は議會への教書に於て「現在船舶院は獨立した船舶管理權を持つてゐるがこれは商務省に移管して責任の所在を一つに歸せしめなければならぬと思ふ。而して商務省內に海運政務官等を設け、政府所有船の運航や各省の海運關係事項を統一管理すべきだ。船舶院は運賃、サーヴイス等に關する監督機關乃至造船助成政策に對する諮問機關とすべきだ」と云つてゐる。船舶院解消後に處する大統領の意圖はこゝにある樣である。

世界的提琴家來朝

藝術の國フランスが生んだ女流音樂家の中でも隨一の美人とうたはれてゐる世界的提琴家シユメー夫人はピアニスト・エドワード女史と共に約二ケ月間東洋演奏旅行のため七日午前横濱入港の淺間丸で來朝直ちに上京帝國ホテルに入つた【寫眞は右エドワード女史、左シユメー女史、後はマネジヤー】

奉山沿線四縣視察團
本社玄關で

樞府顧問官二名增員

【東京九日發】樞府顧問官定員二名の增員は田中內閣當時政府樞府間に諒解成立した處となつてゐるが樞府側では犬養內閣も勿論之を承認し近く何等かの意思を示して來るものと期待してゐるが政府でも別段反對の意思は無く適任者があれば增員しても良い意向を有してゐるから適任者を得次第右に伴ふ樞密院官制改正の件御諮詢を奏請する模樣である

スチムソン氏壽府へ出發

【ニューヨーク八日發】軍縮會議に於ける米國主席全權たるスチムソン長官は本日ニューヨーク出帆の汽船イルドフランス號で壽府に向つたが常設國際司法裁判所裁判官たる前國務長官ケロッグ氏も本日同船で出發した、ケロッグ氏は記者に對し世界經濟界回復の可能性に就き樂觀的觀測を開陳した

民政政策調査會政治部會

【東京九日發】民政黨は新政策樹立を急ぐため九日正午本部に政策特別調査政治部會を開き政治組織教育制度、社會問題並に外交方針の各項目を提示し之が範圍、程度順序等に就き意見を交換したが第一に立憲政治の運用に關する事より研究立案する事となつた、…議會並に選擧制度に關する弊風を矯正し立憲政治の本義を宣揚し國民生活の向上を期すといふに一致した尙政策の急速具體化を圖る爲め每週二回政治經濟兩委員會を開く事となつた

敍勳の御沙汰

【東京九日發】本日逝去した元內閣書記官長高橋光威氏に對し生前の功勞を思召され左の御沙汰あつた

從四位勳二等　高橋光威
敍勳一等授瑞寶章

十一日臨時閣議

【東京九日發】政府は十二日の定例閣議に七年度各省豫算を上程審議する爲め十一日午前十時より臨時閣議を開き滿洲に關する諸問題に就き意見交換を爲す筈

狙擊犯人死刑

【モスクワ九日發】勞農聯邦駐劄日本大使館參事官トワルドウスキー氏狙擊犯人として死刑を宣告されたアシリエフ、ステルンの兩被告は聯邦中央執行委員會に對し赦免を請願したが拒絶され本日決定通り銃殺の刑に處せられた

支那軍の射擊を聯盟に報告

【ジユネーヴ九日發】本日國際聯盟日本代表部は聯盟事務總長ドラモンド氏に對して去る四月七日約六十の支那兵は嘉定廟北方の蘇州河を渡り封家濱附近の日本軍に向け射擊し別に六十名の支那兵も之に協力して射擊を開始したが日本軍は應戰の後之を擊退したと報告した

旅大の文物に喫驚

奉山沿線四縣の視察團一行

九日歸縣に際して本社で感想を語る

去る六日來連した滿洲國の錦縣、錦西、綏中、興城四縣の官公吏並に地方名望家二十數氏を以て組織する觀光團は到着後七日は海軍當局の特別なる好意によつて折柄碇繫中の軍艦日向、加賀等を拜觀したのを初め埠頭、資源館、工業博物館、文化協會、電氣遊園その他を參觀し午後は文化協會の

招待宴 に臨み八日は取引所、油房、小崗子公學堂、衞生試驗所等を見物し星ヶ浦ヤマトホテルにおいて滿鐵旅客課より茶菓の接待を受け更に九日は三越その他市內大商店を自由に見物の上午後三時頃來社し本社の工場その他を參觀し同夜十時發列車にて奉天經由歸縣の途についたが一行の顔觸れは左の通りである

▲錦縣　商會常務委員張玉庭、同文書徐蘭軒、同縣公署偵緝隊長孟廣義、同縣警務局督察長胡論晉鐘、同縣教育局課長趙鳳鳴、同縣財務局課員王俊卿、同縣城鄉自衞團督察員劉笠屏、同縣實業局課員焦雲祥、同縣教美工廠長王雲亭、同縣苗圃主任王慶立

▲綏中縣　自治委員會秘書周廣訓、同縣公署事務員溫學曾、同縣教育局課長馬連中

▲錦西縣　教育局長孫東藩、同縣自治執行委員會委員李光漢、同縣立第二小學校長范長森

▲興城縣　自治委員農務局長王國滿、同縣自治委員鄭國棟、同縣苗圃主任劉德勞、同縣自治委員教育局長賴鶴年

因に本社では一行に對し應接室に於て茶菓を供し種々意見の交換をなす處あつたが軍艦及び旅大視察後の

感想に 就いて一行中の孫東藩氏は次の如く語つた

我々大部分の者は今度初めて旅大の文物を視察したのであるがその規模の雄大、文物の發達など、未だ曾つて夢想だにもせなかつただけに非常に驚いた、殊に軍艦を拜觀して世には斯くの如き強大な武力があるのかと喫驚し、事毎に感銘する所が多かつた、我々は今まで地方に居て當地方の斯る施設や日本軍部の眞の威力に就ては殆ど知る處なかつたが今度實際にそれを見て日本が世界の一等國たる事實を十分諒解することが出來た、我々は此の二十餘年來郷國において東北軍閥の虐政の下に苦しめられ眞に幸福なる社會を建設せんと絶えず志して居たにも拘らず我々の力では此虐政の桎梏を何うしても脱却する事が出來ずに居たのだ、然るに今回の事變が機會となつて軍閥の暴政を脱却し茲に滿洲國が建設され我々の多年望んで居た幸福な社會の建設が出來るようになつたのは誠に喜ばしい

次第で 我々はこれより歸郷して我々の感じた處を率直に地方の人民に傳へ且つ我々が今後友邦日本の力を藉りてよき國家よき社會の建設について如何に協力し努めればならぬかといふ事を宣傳する考へである、それに就て此際我々の得て勝手な希望を申上ぐれば我々は今絶えず多數の匪賊に脅かされて居る、故にこれが討伐に就て日本の軍部諸公はこの上共強い力を貸して頂き度い、彼等は常に兇惡な武器を携へて襲撃し來り良民を苦しめつゝあるが我々にはこれに對抗する武備といふものは殆どなく、滿洲國の力を以つては今の所これを何うする事も出來ない、故に武力を貸し下さる以上今後はより以上強力な武力を以てその討伐一掃を圖つて頂きたいと思ふ、只その際良民と匪賊の區別に就ては特に御注意を願ひ度く、地方良民の中には之等匪賊に對する自衞方法として鐵砲その他を各自所藏して居る者もあるので動もすれば

匪賊と 混同される恐れがあり思はぬ災禍を蒙むるやうな事もないではないされば我々も十分聯絡を取つて斯る事のないやうに努めると共に軍部に對しても特にこの事を御頼ひ申し度い考へで居る、我々は今回斯る文化發達し規模雄大な實狀に接し驚歎感激すると共に、社會の一分子として今後大に努力しよき社會を建設し五年十年の後には我々の國も日本と同樣に文化發達し眞に幸福な生活の出來るようになり度いといふ念願を持つに至つたがそれには何よりも日本の助力が必要であることを此際つくづく感じて居る次第である

滿鐵採用者增加

東京の豫定數を增し狀勢次第で更に採用

滿鐵本年度專門學校以上卒業生新採用數は最初七十六名の豫定であつたがその後滿洲の狀勢は一變し滿鐵本社から各方面に轉出する中堅社員は相當に上り從つて百名以上の人員不足を來したため必然的に新採用員增加の必要に迫られ東京での採用試驗の結果豫定人員七十六名を二十六名增加計百二名を採用することゝなつた、しかも滿鐵ではこれ等不足社員の補充に就ては極力新卒業生の採用による方針であるため今後の狀勢如何では更に採用を增加し四月中旬大連で行ふ中等學校卒業生の採用も豫定人員以上の採用を行ふ筈である、唯專門的技術方面の補充は新社員採用では養成の期間がなく從つて鐵道省方面にも交涉し必要な場合には適當人員を招聘し得るやう交涉を行つてゐる、なほ今後專門學校以上卒業生を追加採用する場合は新たに採用試驗は行はず今回の受驗者から追加採用を行ふ筈である

國富の統計調査打合

わが國の個人財產は判明してゐるが國富に就ては全然判明してゐないので國家の機關によつて調査を行ふべき必要を認め森內閣書記官長は六日午前十一時から首相官邸に統計學界の權威者柳澤保惠伯高野岩三郎、佐野善作、汐澤利喜太郎各博士を招き長谷川統計局長、松井資源局事務官その他も列席して具體的方法につき懇談した、寫眞は首相官邸の懇談會（中央森書記官長柳澤伯）

農村復興資金

第二回貸付け

奉天省公署では地方農村の復興救濟のため四月一日より全省五十八縣のうち廿九縣に對し六十二萬元の耕作資金と二萬一千五百石の種子類の貸付けを行つたがその後他の貸付け洩れの各縣よりも疲弊窮狀を訴へた同樣の貸付け方を請願して來たので準備金のうちより更に第二回貸付けを行ふことになつた【奉天電話】

意外に必要な事

なかむら

◇大連嶺前小學校父兄會から配られた調査用紙に家庭の宗教、家族の年齢等を記入する樣になつてゐた事に對し、細湖生樣が族稱不要論等を例にとり、かゝることを記入するのは現代に相應しくないと教育家諸氏に注意してゐられましたが、一應もつともな點もあります。

◇然し大教育家ペスタロッチに言はすれば、良き教育家は單に兒童に關する總ての事を知るのみならず、家庭、親戚、祖先の事についても充分知つておく必要があるとの事ですから「必要以外の事」として棄てさることは如何かと思ひます。氏は又宗教に關して「信教の自由が與へられてゐる今日何宗何派の子供の誰某が何町の何番地に居る事を知りそれを何の資料とされるつもりだらう。人類の進歩福祉には何の役にも立たぬではないか」更に又「我等の宗教は實際の信教でなく、家代々の墓守の爲に過ぎないではないか」と申されてゐますが、これは氏がどんなつもりで申されたか甚だあやしい樣に見受けられる。一方では「宗教は墓守の爲の便法である」と云はれる他方信教の自由を云々される心境が分りにくい。これは却つて氏の人格について或る種の不信を懷かせられるに過ぎぬ。

◇世の多くの宗教否定論者は――いかにも宗教を知りぬいた結果宗教の不用を悟つた如く――事實宗教の何物たるかを知らぬが故に宗教を不用と見誤りなる事を棚に上げ――おゝむね斯る事を平氣で申されます。然し彼等が一度宗教的家庭に入り美しい雰圍氣にしたれば、五十年の自己の地上生活に一大變化が起る事に氣づくのみならず自己の周圍をも美化し得る宗教の力に氣づくでありませう。

◇昨今教育家の質が低下したことは甚だ殘念であります。中には眞に兒童のために祈り、兒童のために泣き、兒童のために一身を捧げてゐる立派な教育家も居られますが、多くの當事者は職業的になつてしまひました。この點細湖生樣をして「家庭や祖先の事はおろか、子供の事すら滿足に知らぬ教育家達が何宗何派の子供が何町の何番地に居る事を聞いて何にするのであらう」と疑問を抱かしめたものと思ひます。

水產と鹽業の振興に努力

關東廳の新方針

關東廳商工課では江口課長來任以來、滿蒙の新經濟情勢に適應すべき日滿貿易振興策に就き銳意研究中であるが其の一として關東州沿岸の水產物と鹽を中心にする積極案が樹てられてゐる、それは滿洲國三千萬の民衆の漁獲水產物の消費高が一人當り平均

一圓餘 にして日本人側の一人當り八圓に比し多大の差がある、勿論これには購買力の關係もあるが海岸を持たぬ地理的事情と經濟的障壁に原因せるところが多い。卽ち滿洲自體の出產高は鴨綠江、松花江始め南北滿洲の河川湖沼からの年額約二百四十萬圓程度に過ぎず他は日本、關東州、露領沿海州及北支那から供給を受けてゐる、而も日本側は此國からの百六十萬圓、關東州からの百四十萬圓合計三百萬圓で（この內在滿日本人の消費高二割強）あるから將來販路擴大の餘地は多分に存する譯である、然るに日滿の經濟關係は昨秋の事變以來一齊好轉し交通、貿易は自由となつたのだから、滿洲人の生活程度及樣式の向上變化に伴ひ延長五百　の海岸線を有する關東州水產界の活躍は此機逸すべからずといふ譯である、商工課の

調査に 據ると旅順經由のもののみでも大正十年以降奧地移入高は三分の一強の增加を示してゐるのだから生魚運搬設備の完成、乾魚精製法の改良（支那料理は乾魚の還元法を主とするから）及日本側の漁獲設備の擴大並に支那漁業者側への指導宜しきを得るならば現在の漁獲高（關東廳四二九萬圓、渤海々岸百萬圓、黃海々岸三五萬圓）乃至日本內地からの輸入高を倍加せしむる事易々たるものがあると謂はれてゐる、關東州水產會が經費節約の昨今にもなほ三萬五千圓の調査費を與へられてゐるはこれが爲めで同會では奧地方面と連絡を採り銳意調査研究を急いでゐる。次に鹽は東北三省は從來官鹽制又は準官鹽制に因り外國鹽の輸入を防止し地方政府收入の大宗としてゐる爲め單價高率にして日常生活の必需品なるだけ一般民衆の痛苦は多大でやゝもすれば鹽饑饉の虞さへ生ずるのであつたのに反し

關東州 の產額は滿洲國の七億に比し五億萬斤に達し內地へ二億、朝鮮へ一萬、露領沿海州へ五千萬斤を移輸出するも尚過剩を生ずる爲め目下生產制限をしてゐる狀態である、隨つて經濟市場の開放による滿洲國への輸入可能となれば水產物の輸入增加もこれに作用しその需要額に莫大なる數字に上るものと看做されてゐる、さらに內地曹達工業の自供自足策による原料鹽の增加、北海漁業の發達、之に伴ふ北海漁船の鹽積取りの往路を利用して同方面水產物の對滿洲國輸入取次等も必然に生じ來る結果で關東州の

水界產 を中心とする日滿貿易は生產單價の低廉その他多くの有利條件を具備せる爲め他の對滿貿易中最も有望なるものとして商工課當局は水產鹽業當業者を督勵し之れが具體化を急いでゐる

滿洲國政府が記念植樹

長春の綠化を圖る

滿洲國政府は國都建設事業の第一着手として四月十三日より三日間記念植樹デーを實施し先づ南鐵附近滿鐵地跡一帶に二萬五千本を植樹し漸次新京滿都の綠化を圖る事となつた【長春發】

貿易館を增設し邦品進出を助成する

▽……滿鐵地方部の新方針

滿鐵地方部では豫てより日滿貿易の振興並に奧地における邦品の販路擴充のため七年度においては相當豫算を計上して南北滿七ヶ所の既設貿易館の改善充實を助成する一方新國家の建設に伴ふ市場條件の變化に對應して北滿および內蒙の適當なる地方を選み積極的に多數の貿易館の新設を助成する計畫でこれが候補地の決定ならびに具體的な助成の根本方針につき先般來大藏理事以下商工課關係各係を中心に慎重考究中であつたが最近大體左の如く決定を見た

貿易館の設立 既設の三姓、齊々哈爾、吉林チチハル、洮南、錦州、海拉爾の外更に北滿にては黑河、呼倫および濱支國境の牡丹山の三ヶ所、內蒙方面では林西、赤峰、通遼の三ヶ所および打通線の彰武に新設の豫定である

助成方針の重點 大體從來通り奧地における日本商品紹介、販賣機關として陳列卸賣もするが小賣に力を入れることは貿易館關係の特定の個人商人を庇護することゝなり本來の助成趣旨に反するので、貿易館の經營並に機能を奧地小賣邦商の卸賣機關たらしめることに重點を置き小賣邦商の奧地市場進出を助けること

貿易館會議の開催 毎年一回全滿の貿易館會議を開催し各地より報告および研究問題を持寄り討議しエキスパートを招いて指導を受け相互に連絡して奧地市場開發に關する協力機關とすること

市場調査員の任命 既設未設のものを問はず相當學識經驗ある調査員を一名宛貿易館に置き市場事情各地における需要の實際的調査等につき常駐機關として調査報告をなさしめ販路網の擴充に資すること

人絹關稅引上

對日長期抵抗

【南京九日發】國民政府が人絹關稅引上げに決したとの報は各方面に衝動を與へてゐるが當局者は人絹關稅引上げは日本への長期抵抗の一表現だが行政委員會議が原則を通過したのみで其の實施期法は尙ほ決定して居らぬと發表した

滿洲國の調査員歡迎委員

滿洲國外交總長謝介石氏は九日午後七時半ヤマトホテルにおいて滿洲國際聯盟調査委員一行の來滿を控へて調査委員歡迎委員を左の如く發表した【長春電話】

歡迎委員長　外交部總長　謝介石
委員　東支鐵道督辦　李紹庚
同　東支鐵道理事　池瑞麟
同　國務院秘書長　鄭垂
同　上　長春市長　金璧東
同　上　奉天市長　閻傳紱
同　上　軍政部次長　王靜修
同　上　ハルピン市長　鮑觀澄
同　上　興安局長　齊王

十日交通訓練デー

戶外に出るによい氣候となつてこれから交通事故が頻發する、大連署では十日午前九時から午後六時まで全員總出で交通訓練デーを行ふこととなつた、今回は特に步行者の訓練に力を注ぎ花見時の事故防止に資することゝなつた

大阪工業會滿洲視察團

奉天へ視察

大阪工業會滿洲視察團一行は九日午後九時二十分着奉、ヤマトホテルに宿泊、十日午前中兵工廠北大營その他を視察した【奉天電話】

旅順高等公學校々舍決る

廢校された旅順高等公學校の校舍は元第二中學校を使用し師範學堂は寄宿舍に充て從來の第二中學校寄宿舍はその儘第二寄宿舍とする事となつた

北平リーダー紙再刊

【北平九日發】滿洲國獨立並に不戰論說を掲載し我公使館よりの嚴重な抗議に依つて去る一月二十三日廢刊となつた張學良の機關英字紙リーダー（米人主筆）は其後復活の機を狙つてゐたが愈々明十日を期し「北平リーダー」と改題して再刊する事となつた、右リーダー紙の再刊に際り[illegible]のは其の威を藉らうとしたのは明かだが我公使館では其資本供給責任者の人物今後の方針等に非常な注意を拂つてゐるので場合に依つては嚴重警告を發する模樣である

奉天の大阪見本市

商內多く盛況

九日來奉した大阪工業組合一行は十日午前九時よりヤマトホテル控室にて見本展示會を催した、從來製品の商圈內にあつた奉山線一帶の市場を獲得した奉天は城內の出場者と相俟つて城內輸入業者の出場多く午前中既に琺瑯漆器、フェルト帽、魔法瓶等相當の約定があつた。沼野團長は語る

滿洲人方面との約定は當地輸入組合や其他で信用狀態を問合せて商內をやつてゐますが新約定が多くなかなか約定も良好です【奉天電話】

うらる丸船客

【門司特電十日發】十二日大連入港豫定のうらる丸の主なる船客氏名は左の如し

滿日社長松山忠二郎、同夫人、旅順工大教授大森德作、滿洲事業社長永瀧久吉、海軍大佐宮部光利、滿洲醫大助敎授山根均、澤山汽船野村均、渡邊清次、岡島勇七の諸氏

人事

▲三溝又三氏（滿鐵銑鐵課長）八日ばいかる丸にて內地へ
▲首藤正壽氏（滿鐵理事）九日東京發陸路　連の途に就く
▲宇佐美寬爾氏（滿鐵奉天事務所長）九日朝着列車で來連、一兩日滯在の筈

大觀小觀

洛陽の國難會議には集まる者招集代表の四分の一とは心細い▲汪精衞が國民と協力して難局打開策を講ずる積りだと見得を切るも、代表すら四分の三が出て來ない樣では、國民の方が逃げて行くのでないか▲ダニューヴ河支流氾濫の水害は四十四年振だといふ昨年の揚子江の氾濫も思ひ合せて▲總稅務司メーズ君、滿洲國內の各稅務司に對し、關稅保管銀行を變更す可らずと命じて來た、南京政府のロボットたる彼れとしては當然の事どうせ一と揉めは免れない▲去る四五兩日、モスコーに於けるソウエート會議で、日滿露の三國協調主義を採る事に決した▲例の五ケ年計畫中は、何事も事勿れ主義によるといふわけであらうがそれだとしても、もとより當然の事で結構な事だ▲其の矢先、東鐵管理局、同理事局及び松花江大鐵橋等を爆破せんとした露國共產黨員の大陰謀發覺して、其の首魁が二十數名逮捕された▲政府と共產黨とは別だと云ふか、それに中國共產黨も反國家運動をやつて居るらしいが、それと露國共產黨との關係はないと云ふのか▲露國では白系露人を日滿兩國が助けはしないかと馬鹿に心配して居るが、日滿の方では露國の共產黨が氣に掛るのだ▲此際露と表さがあつては平和を害す

父恩田熊壽郞儀三月九月大阪に於て死去致し候處來る四月十二日午後四時常安寺に於て本葬相營み候間此段謹告仕り候

追而放爲供花等は故人の意志に依り堅く御辭退申上候

四月十一日

嗣子　明陽

男

滿洲日報

日本の第一案採用に 支那は修正を要求

一時危機に瀕した本會議 英米の調停で双方請訓す

次回は十一日

【上海九日發】本日の本會議は殘されたる唯一の問題たる我軍の撤收時期の問題につき討議を繼續した郎ち七日の本會議で得た三案に關する我が代表の請訓に對し我政府は第一案を採用し上海及び上海附近の狀態が平靜となり我居留民の生命財産保護に充分なりと認めらるゝ場合しかして斯くのごとき場合を六ケ月又はそれ以前に到來するものと期待し其の時において一月二十八日以前の線に撤收するとの日本側の聲明案につき討議したが支那側は第一案の聲明を發する事には贊成だが六ケ月を今少し短縮する事ならびに我聲明の字句及び文章を選ぶ事を主張し且つ右に代る代案を提出した之れに對し我代表は右代案の上程ならびに討議を拒絶した會議はまさに決裂に瀕したが此の時ランプソン英公使とジヨンソン米公使の兩氏は交々發言して斡旋して討議を繼續した結果支那側屈服して第一案の字句を僅少修正して國民政府に請訓する事を約し我方は最後案に修正を許すか否かには重大なるため我態度を保留のまゝ次回は十一日午後三時開會と決し散會した我が代表部は帝國政府の意向により本日の回訓が最後案であり一歩も讓歩すべからずとの立前より支那側の非法の字句の修正は僅少なりとは云へ容認すべきや否やにつき午後七時から公使館で協議を遂げ午後七時四十分終了したが會議の經過及び修正點を政府に報告し同時に其取扱ひ方につき請訓した

【上海九日發】第十四次日支停戰本會議散會後左のコムミユニケが發表された

本會議は午後五時から六時四十五分迄日本軍撤退最終時期に關する第一案につき問題の困難を除去すべく討議をなしたが次回は十一日午後三時から開會と決定した

第一案に對する支那の修正要求の内容

【上海九日發】本日の會議で第一案に加へられた修正の要點は同案中に日本人居留民の生命財産並に生業の保護に關し安心を得る時期に至れば日本軍は一月二十八日以前の云々とある字句に對し支那側から右の字句を字義通り解するに於ては日支人間に個人的爭ひあるとか又は日本人旅行者が土匪に迫害された場合等も總て日本軍が永久に支那に駐兵する口實を與へる結果となるとて右の削除を要求し中立國側も中に立つて協議の結果一般的の字句を以て原文の意味を表現するを可なりとし日本人を外國人と訂正したものと確聞する

【上海十日發】支那側情報に依れば昨日の停戰會議でランプソン第一案審議に對し支那側の要求した修正は案文中の「六ケ月を四ケ月に」改める「希望」なる文句を「切望」に即ち「ホープ」を「エツスペクト」に改める二點であると

注目される 張發奎の入滬

【上海十日發】南京に在つて蔣介石、李濟琛等と協議を續けてゐた張發奎は昨日上海に來たり郭泰祺、戴戟等と長時間の協議を遂げた、張發奎軍の滬寧線沿線配備頻りに傳へられる折柄、長發奎の上海入りは頗る注目さる

所に訪ひ敬意を表するにとゞまる

抗日運動の絶滅を上申

【上海九日發】上海官民代表者を以て組織せる時局委員會は本日午後二時緊急會議を開き

一、一切の抗日運動を絶滅せしむる事

一、國際都市上海の恒久的安全を確保す

の二項の建議を決議し我が政府、軍部に上申した

滿洲はなほ秩序混亂 直に撤兵は困難

日本代表部の對聯盟聲明

【ジユネーヴ九日發】國際聯盟日本代表部は九日朝事務局に對し滿洲の一般的情勢並に日本軍撤退に關する理事會決議履行の進展狀態を説明した長文の聲明書を提出した、その内容は發表されぬが滿洲の秩序混亂狀態に鑑み目下の處直に撤兵する事は不可能なる旨を言明したものと見られてゐる

日本側專門の郵便局を設立

【上海九日發】懸案中であつた日本人の郵便物集配の爲め獨立局設置に關し上海郵務總局は愈々虹口分局を設置するに決し五月八日から事務を開始するに決した、業務成績に徴し將來さらにこれを擴張し日本人部なる獨立部を設置するに決した

獨帝銀總裁狙撃さる

【ベルリン九日發】ドイツ國立銀行總裁ルーテル博士は他のドイツ代表一行とバーゼルに赴くべく本日當地停車場に着いた際突如二名の壯漢にピストルで狙撃された幸ひに一彈は腕をかすめ輕傷を負つたのみであつた犯人は直に逮捕取調べの結果ウエルスル・ケルトヘル及びローゼン博士といふものなる事判明したがその原因に就いては口を緘して一切自白しない

九日着平のリ卿一行 十五日發、滿洲へ

五月上旬、朝鮮經由日本へ

【北平九日發】支那調査委員リツトン卿一行は九日午後三時二十分天津發同六時十五分當地に到着張學良の案内にてベキンホテルに入つた。市中は國旗と歡迎幕で埋められ「誓つて此の恥をそゝぐ」「中國民は生存のため日本軍國主義と戰ふ」等の字幕が飾り廣範圍の交通止めをやつた張學良は明日前大總統府懷仁堂で晩餐會を開き一行を招待し第一次の意思表示がある筈

【北平九日發】調査員一行は十五日當地發山海關經由で滿洲に入り滿鐵、吉長、東支、洮昂、四洮等滿洲國主要鐵道各地を視察し五月上旬朝鮮經由若しくは大連發海路日本を正式に訪問し更に支那の海邊に來り調査報告書を作成する筈。張學良は熱河邊が北戴河に決定せん事を希望し居るが一行の說は青島說に傾いてゐる

公式外の招宴を謝絶

【北平十日發】聯盟調査團は上海南京等に於ける支那側の宴會攻めにこりて北平では極力これを避け專ら實質材料の蒐集に當る事となり招待の如きも目下のところ本日午後の張學良、顧維鈞、周大文市長各夫人主催の茶話會及び十一日の總司令主任としての張學良主催の晩餐會が豫定に入れられてゐるだけである因に張學良主催の晩餐會は本日開催の筈のところ本日は日曜なるを以て顧維鈞の注意により急に右の如く變更されたゞ儀禮的に正午リツトン卿一行をその宿に

「抵抗あるのみ」 蘇州戰線で蔡廷楷談

【上海十日發】蔡廷楷は蘇州の戰線において左の談話を發表した

停戰會議は終始日本側に誠意なく徒らに引張り我民衆の意氣の沮喪するのと我軍隊の疲れるのと國際間の視聽の緩怡するのを待つて居るのだこれ我咽喉の地たる上海に代表を留め東北を永久に占領せんとするためである我國はたゞ抵抗するあるのみだこれが唯一つの活路だ、我方から停戰會議を思切らないのは一つは政府の問題であるし一方列國の斡旋がある爲めだ然しこれも國民は決して中立國に頼れるものではない抗日の勝負は即ち民族生死の別れるところだ全國民が一致して我等の背後に立ち共に國難に赴く事を確信す

十九路軍に逃亡兵續出

【上海九日發】軍司令部九日午後五時半發表＝太倉には今尚相當有力なる第十九路軍駐屯しありて城外に在る第四十七師と對峙し居るも最近逃亡兵續出し黄渡の我守備隊に於て第十九路軍に屬する逃亡兵二十一名を捕縛せり捕虜は全部便衣を着し、小銃を携へ手榴彈を有するものあり逃亡兵は多く南京人にしてその言に依れば最近拉致された諸兵は給與頗る不充分なる故その艱苦に耐えずして逃亡兵續出せり太倉にある間は主として土工に服し又時には何軍隊なるやを知らず友軍と戰鬪せりと

「勝田氏が最適任 黨人だとて差支へない」

總裁を辭退した山本氏の談

【東京十日發】滿鐵總裁就任の交渉を受けた山本条太郎氏は十一日痔疾治療のため帝大病院に入院する豫定であるためこれを理由として辭意相當かたく寧ろ勝田主計氏が適任なることを述べて居る位であるが、犬養首相は第一候補者として受諾せしむるに至るべく山本氏にして飽くまで固辭する場合第二の策を講ずることゝなるであらう首相と會見後山本氏は語る

滿鐵總裁に黨人がいけないと言ふ事はあるまい 滿鐵總裁には勝田主計氏より外に適當な人物はないではないか、まさか法律家を持つて行く譯にも行くまい自分は十一日から痔の治療に入院するから病軀其の任に堪へぬではないか、犬養首相とは入院するからこれ以上會見の要はない、國策審議會の話しもあつたがこれは斷然斷つた、兎角人事は決定せぬといろ／＼の運動があつてうるさいものであるから暫く棚ざらしにして置くのもよい自分が前に滿鐵總裁になる時にも斷はるつもりで二ケ月も棚ざらしにして居たが前田氏に口說落されたのであつた、しかし今度はソンナ事はないよ

山本氏 兩相と會談

【東京十日發】犬養首相より滿鐵總裁の交渉を受けた山本条太郎氏は九日午後三時高橋藏相を訪問し秦拓相も加はり三氏鼎坐種々協議を行つた

内田總裁辭任に 軍部側は强硬に反對 首相に慰留盡力を希望

【東京十日發】内田總裁辭職問題に就いては軍部特に關東軍では同總裁とは滿蒙政策遂行に就き圓滑なる理解をもつて進みつゝある途上にあるため同總裁の更迭には飽くまで反對し國家的見地から頑强なる意見を具陳して來たので荒木陸相はこれがため九日午後四時首相官邸に犬養首相を訪ひこの軍部の强硬意見を陳述して更に内田總裁引留に關して考慮を求めたこれに對し犬養首相は充分考慮する旨の回答をなした從つて軍部では首相は内田總裁に對し更に慰留の措置をとり内田總裁もこの懇請を容れ結局聯盟支那調査員一行の滿洲通過までその職に留まる事を希望してゐる

民政黨で調査開始 議會で糾彈

【東京十日發】民政黨は最近内田滿鐵正副總裁の更迭に對する江口政府の失態を始め植民地人事行政に關する政府の暴狀を頗る憤慨し幹部間に、かゝる政府の失態に對しては重大なる滿蒙經營、植民地統治上到底默過する事が出來ないとして近く正式幹部會を開き委員を擧げ具體的調査を爲し五月の特別議會にて本問題で政府を徹底的に糾彈する筈

時局後援會

在滿日本人時局後援會では十一日午後二時より大連市役所會議室に於て常務委員會を開催すると

人事

來連

▲梅谷光貞氏（海外移住組合聯合會理事）十日入港あめりか丸で

上

▲若尾金造氏（山梨縣囑託）同上

▲折下吉延氏（東京帝大講師）同上

▲宗正雄氏（東京帝大教授）同上

▲駒井初次郎氏（豐國セメント副社長）同上

▲仙波久良氏（政友會代議士）同上

▲神奈川縣滿鮮工業視察團一行五名 同上

▲宮城縣出征軍人慰問使一行三名 同上

▲荒川大太郎氏（遞信技師）同上

▲渡邊彌門氏（遞信省事務官）同上

事件費を加へて 七年度豫算は十七億

赤字公債一億五千萬を發行

【東京十日發】昭和七年度追加豫算は大藏省主計局で第一回で査定したもの七千五百萬圓復活要求及び別途詮議事項中承認したもの八百萬圓合計八千三百萬圓の巨額にのぼり之に實行豫算歳出十四億五千四百七十六萬圓を加へると七年度當初豫算は十五億三千七百七十六萬圓となつたしかして滿洲事件に關する外務陸軍海軍三省の經費は未決定のまゝ留保せられてゐるがこれまた少くとも一億六、七千萬圓は要するものと觀られ之を加へ七年度豫算は十七億圓に達する見込みである、尚七年度追加豫算の復活及び別途詮議の承認額八百萬圓全部は赤字公債に依る事に決定した之により昭和七年度新規公債に發行豫定額は大體左の如くなつた（單位千圓）

一般會計滿洲事件費 五九、五一九

既定郵便法電信電話震災復舊費路費に依るもの 二九、三六七

赤字公債	一五一、五四八
内譯	
實行豫算	六八、五四八
追加豫算約	八三、〇〇〇
滿洲事件費追加見込	一六〇、〇〇〇
合計	四〇〇、四三四
特別會計	
鐵道公債	四九、〇〇〇
朝鮮事業公債	一四、九四〇
同追加見込	二、〇〇〇
臺灣事業公債	三、〇〇〇
關東州事業公債	六〇〇
樺太事業公債見込	一、〇〇〇
合計	七〇、五四〇

理論よりも實際 「先づ脚下を顧る」 (下)

滿鐵社員會の動向

三、社員共同の福祉

昨年度、二十年勤續者に金盃贈與の件、月俸者と日給者の給與日を一緒にしたことなどの如き行き方で進み度い。

人事課長の頻繁な更迭と、その地位の關係などは充分研究すべきで、外國の會社では二十年以上も人事課長を勤めてゐるのが多く、その間給料は増しても他の椅子へ轉ぜしむる事をせず、地位にも相當な權威を保たせてゐるので、社員との間が二十年以上の關係で非常に密接だ、こんな點は學ぶべきである……といふ見地から

●會社人事政策の改善策研究

●會社が人員整理をなす場合はその理由を明示するやう進言すること

●給與問題の徹底的研究

●重役との座談會等を行つて上下の親睦理解を深める

●社員會は一社員の利害と雖も普遍性を有するものは共同の利害として扱ふこと、役員は充分にこれを考慮すること

等の申合せをなし特に相談部の活躍を期待することになつた。

四、聯合會の機能發揮

本部だけでなく、聯合會、分會あたりでも充分に働いてほしい。從來は本部中心になり過ぎて地方には熱がなかつた。直接に利害を共にし、自己の機關である以上、地方も本部ももつと協力援助して諸般の事に當らうではないかといふので

●中央集權から地方分權へ漸進

●聯合會の増設（組織部にて研究）

●本部との連絡、交渉等を頻繁緊密にする

●沿線との往復に就ても考慮の餘地あり（庶務部にて研究）

等の各項を議した。

五、評議員會に就て

從來の例によると政府と野黨のやうな對立狀態を示して空氣が穩當を缺いてゐた。これは會の性質上止むを得ぬと云へばそれまでゞあるが、何とか親密に座談的な氣分で相談し合ふ方法はないか……といふ事が問題となつた。

それには充分に論議をする時間がない爲もあり、役員の説明はその立場上辯明的になり評議員側はその揚足取りにかゝる傾きもあつたので、今年からはお互に態度を愼み和氣藹々と圓滑に議事を進めたいといふので

●討議に充分な時間を與へる

●場合によつては一日延期も可

●評議員會を年二回開催してもよい

第一回の定時は豫決算を議し小議題は決議しても、愼重を要する問題は豫備的討議にとゞめて研究續行

第二回は臨時として此時に前回未決の項の決議をする

事等の案が出た。

六、國際聯盟調査委員を迎ふ

一行の來滿に際り、社員會からは昨年度の聲明書に添へてステートメントを提示する事と決定、起草を調査、編輯兩部長に委囑し、脱稿後改めて役員會を開くことになる。

七、各部の陣容に就いて

一般に廣く有能の士を糾合して部員とし、各部の機能を充分に發動させたい。そこで熱のある若い人々の進出を大いに期待する事となり

●自發的申出を歡迎する

●部の會合は毎月必ず開催する

●各部に於て部長代理を定めておく

●部長打合會の時部長に故障がある場合は代理を出席させる

事等が議せられた。よつて、部長は早速部員の銓衡にかゝり、近日部員が決定する筈ゆゑ、希望の人々は板倉組織部長まで申出られるがよからう。

三宅關東軍參謀長の上京

關東軍參謀長三宅光治少將は六日午前八時卅分東京驛着列車で上京した、右は滿洲國承認問題、匪賊討伐問題、兵力問題其他當面の重要問題につき陸軍中央部及び政府と根本的打合をなすためであつて三、四日滞在の豫定であるがその行動は時節柄注目されてゐる、尚ほ同參謀長は近く中將進級後も現職に留まることに決定してゐる【寫眞】は三宅參謀長と出迎への令嬢、令孫【東京驛にて】

米大使館の飲酒解禁

メロン新大使の英斷?

【ロンドン九日發】新任駐英アメリカ大使メロン氏は九日ウインリー宮殿で英國皇帝に信任狀を捧呈したが大使は着任早々「本國では禁酒法を施行してゐるが大使館では飲酒解禁だ」と語つて社交界の話題となつてゐる

グルー新駐日大使 ワシントン着

【ワシントン九日發】新任駐日大使ジヨセフ、グルー氏は本日ワシントン着一月間當地に留まり東洋問題に就き諸般の打合せを爲した後東京に向ふと

内滿無線は試驗時代

荒川技師談

さきに奉天内地間の無線直通々話計畫その他に就いて調査に來滿した一行中の一人である遞信技師荒川大太郎氏は十日出帆ばいかる丸で歸國したが語る

私は一行中の下働きで監督の立場にある人はまだ奉天にゐますから計畫などに就ては全然知りません、然し新聞に試驗通話など行つたやうなことが出てゐましたが、まだ卸々そこまでに行つてゐないことは事實で、兎に角やるとすればどうした方法でやるのが好いかといふことに就いて試驗を行つてゐるわけです、また内地に歸つてからも當分これ等のことに就ての試驗を行ふことになつてゐます、また試驗も無線通話だけをやるなんてことはなく色々なことに就てやつてゐます

旺んな滿蒙移住熱

仙波代議士談

特別議會出席のため上京中であつた政友會代議士仙波久良氏は十一入港のあめりか丸で歸連したが語る

また五月匆々臨時議會出席に上京する、滿鐵總裁更迭問題を僕に聞かれても解らん、兎に角軍部と充分連絡のされる人に來て貰ふことが必要だらう、内地の滿蒙移住熱の旺盛なのには驚いた、然し私はこれ等の人に對して漫然と來ることの危險を説き充分の準備が必要であることを會ふ人ごとに話した

趙江省長代理來長

黑龍江省長代理趙仲仁（現在黑龍江省財政廳長）は國務院の招電に依り本日午後三時二十九分着列車で來長し直に國務院に入り鄭總理と會見し引續き臨時閣議にて政情重大なる意見の陳述を爲した之に依り〇〇〇に絡る一切の眞相が判明すべく重視されてゐる【長春發】

支那の軍備現狀公表を 日本より督促

【ジユネーヴ十日發】軍縮會議はイースターの休日が明けて十一日から再び本舞に入らんとするに拘らず支那代表は軍備現狀を公表する模樣なきため我が代表部は九日遂に公表督促希望の通牒を聯盟事務總長に宛て提出した

指紋法實施に奉天省長始め官吏一同率先して實行、臧省長の施政精神窺はれる。

◇

滿洲國、顧維鈞の入國を婉曲に拒絶す、こちらは歡迎する積りだが、そちらで反滿宣傳をするから、民間に反支感が昂ぶつて危險だからさいふのだ、身から出た錆で仕方あるまい、それとも押切つて來る勇氣があるか。

◇

共産黨の北滿における攪亂は困り者、其の新國家建設妨害、工人總罷業煽動、白系露人曉殺は、國際的、社會的、人道的の罪惡。

◇

滿洲國は是非之れを驅除せねばならぬ、彼等が日本資本の投下に妨害を加ふる以上、日本も徹底的考慮せねばならぬ、それが國際間の衝突を惹起すれば幸ひである、勞農政府の深省を望む。

◇

聯盟調査團、北平の御馳走責めを恐れて逃足になる、歡迎で丸められる紳士ではあるまい。

東亞の謎 (242)

國枝史郎 挿畫 伊藤順三

ウイグル人の國(四)

「この湖水はずゐぶん深いやうですなあ」

南部はさう云つて覗くやうに見た。

黄緑色に濁つてゐて、湖水そのものゝ水の姿は、決して淸く美しくもなく、寧ろ不快で無氣味であり、底に夫れこそ寶物か怪物かを、藏してゐるさうにさへ思はれた、「深いらしい、底知れずといふやうだ」

伯も云ひ云ひ湖水を覗いた。

「ではこの湖水の有場所が、小夜子さんの肌へ現はれたんですな」

「あゝ、然うだよ、これが現はれたのさ」

「どうしたら寶が發見されませう……」

「日本から連れて來るとするさ……」

「さういふこともだつてある筈だ」

「何時湖水の水は乾きませうな」

「さあ、そいつは解らない。千年の間に一度あるか、二千年の間に二度あるか、さういふ破天荒の天工力は、豫想することが出來ないのですからな」

「悠暢な話でございますな」

「悠暢な話と云つていゝわ」

「そんな悠暢な天工力を待つよりか何か別な方法を以て……」

「潜水夫を入れて探すんだねえ」

「成程、これは名案ですなあ……潜水夫は何處にゐるでせう?」

「どつちみち蒙古の沙漠にはゐないよ。……こんな雄大な沙漠の國で……日本流にコセ／＼したさ……」

「第一に水を干すことさ」

「湖水の水を干すんですか?」

「あゝ然うさ、不可ないかね?」

「可い惡いより不可能でせう」

「不可能の文字を笑つた男に、ナポレオンといふ男があつたが、僕もひよつとするとこの男のやうに不可能の文字を笑ふかもしれない」

「と云つて是だけの湖水の水を、どうして干すことが出來ますかな」

「つまり天工を待てばいゝのさ」

「天工の待つのさあ解らなくなつたぞ」

「蒙古の國、才壁の沙漠、ここには日本などでは想像出來ないやうな、破天荒な天工力が働くのだよ」

「どんな天工力でありますかな?」

「一朝にして繁榮してゐた國が、砂の中に埋もれたり、一晩にして巨大な湖が、沙漠の中に現はれたり、そんな天工力が働くのさ」

「成程、さうしますとこの湖水の水も、乾くことがあるといふのですな」

ところで、何の役にも立たないから

「それはまあ、然うでございますな」

「第一今度此處へ來たのは、成吉斯汗の墓の有場所を──眞の有場所を知るためで、夫れを引揚げるためではなかつた筈だ。名に負ふ巨億の富を持つた墓だ、簡單に引き揚げられるものではない引き揚げるだけの、可成り大規模で完全の組織を、新規に作つて出直して來るべきだ……さて、墓の有場所は解つた。この湖中にあるに疑ひない。今はこれだけで滿足するんだねえ……どうも實に可い景色だ……湖面に雲が映つてゐる。鷲の飛んでゐるのも映つてゐる」

伯の態度は冷靜であり、沈着なものではゐなかつた。

岸を行つたり來たりして、空を仰いだり、湖面を覗いたり森林の姿を見廻はしたりした。

森林の中からは人聲がしたり、伐木する音が聞えて來たりした。伯の從者達が天幕を張つたり、木小屋を作つたりしてゐるのであつた。

艦載高速艇顛覆し 四十三名が溺る

海兵必死の努力で七分間で救助

けさ大連埠頭の騷ぎ

十日午前九時卅二分軍艦足柄乗組員の面會その他のため同艦に赴かんとして五十名近い市民が埠頭十番バースから同艦々載高速艇に乗移つてゐたとき市民達には女子や子供が多かつたため水兵の制止も徹底せず一度にドッと乗込みしかも艇の片側だけに乗り移つたため突如艇は横倒しに顛覆アッと言ふ間に乗組んだ市民四十三名全部が水中に投げ出された、この不意の椿事に岸壁にあつた人々は大騒ぎを始め子供だけを乗せて乗り遅れた

母親達にははや聲をあげて泣き出すものまであつたが、この椿事突發と同時に現場に居合せた同高速艇の水兵はじめ足柄、夕霧、長鯨、羽黒などの乗組水兵約十五名は全部素早く水中に飛び込み中には軍服のまゝ水中にもぐり込んで救助につくすものがありこの水兵達の目覺ましい必死の努力で四十三名全部の遭難者を僅か七分で救出することが出來た、餘り突然の出來事に岸壁に垣をなして水面を見守つてゐた市民達は口々に水兵さん達の勇敢な活動振に感嘆の聲を放つてゐた、救ひ上げられた市民達は更に

海軍側

滿鐵埠頭詰所員水上署員等が懸命に協力してそれぐ適當の場所に運んで應急手當その他を施し一方脇屋滿鐵公醫が逸早く現場に馳せつけて診察、更に鄭江醫院大連醫院からも醫員看護婦を派遣、菊池海務局檢疫醫も急行それぞれ手分けして診療に當つた、この敏速な活動で遂に一名の犧牲者も出さず遭難者はそれぐ自宅に歸つたが、たゞ沙河口西町一九辻シヅエ（七）さんだけは心臓が弱かつたゝめ一時心配されたが埠頭現業員詰所で手當の後生命大丈夫となつたので自宅に送られた

念のため 海底捜査

遭難者全部を救出後海軍および滿鐵では念のため乗客の遺失品を捜査かたぐ更に海底を捜査することになり双方から二名宛の潛水夫を水中に入れて直に捜査したが幸ひ水底に人影はなく正午捜査作業を終つた

申譯けない 岩越「足柄」副長語る

一方高速艇顛覆の報と共に足柄副長岩越海軍中佐は直に現場に馳せつけ救出の指揮に當つてゐたが一段落のついた後記者に恐縮の面持で語る

私達の監督不行屆から市民の方に非常な迷惑をかけて申しわけありません、新聞を通じて深くお佗びいたします、何分けふは海が餘りに靜かであつたので安心をしたのですが女學生の方が相當多いと聞いてゐましたので特に艇を二隻用意し一方に餘裕があるのでそちらに少し行つてもらう筈でしたが皆さんがそれを待たず一度にどつと乗り移られ、しかも馴れてゐられない關係から片側に寄られたのでこんなことになつたのでせう、本當に申しわけもありませんでした

遭難者

遭難者氏名判明の者左の如し

玉利直造、田中一雄、石原榮子、同靜男、早川重次、松岡滿雄、和田洞平、同輝次、蒲生濱二、同清、佐野初雄、同マレ、小野昇、同芳野、高村養六、同よし、同勇、同保、高松岩三、四本明、同澤次、上村茂喜、吉野只、萩原四郎、辻靜枝、同菊枝、同トキ、山田園雄、高員直造、同トキ、同サモ、同光次、井上龜次郎、同サモ、同光、高橋辰次、同トメノ、同清、同文章、同良夫、同政子、同光子、同幸谷力

懐しい母國へ　宇治丸乗船の除隊兵

中條百合子 夫妻檢擧さる

プロ文化聯盟幹事 檢擧事件の關係者として

【東京特電十日發】日本共產黨の再建運動に對する彈壓から今回のプロ文化聯盟幹部檢擧事件の重大關係者として文化聯盟婦人委員長女流作家中條百合子女史（三五）及びその夫プロ作家同盟指導者理論家宮本健二（二七）並にプロ作家同盟中央委員兼プロ寫眞家同盟中央委員長貫司山治と伊東好市（三四）は九日午後相前後して某署に檢擧され警視廳特高課で取調べを受けてゐる【寫眞は中條百合子女史】

横領した一萬餘圓 悉く遊興に費やす

大連日本橋小學校の事務員 熊野けふも取調べ

大連日本橋尋常小學校事務員熊野喜代吉（二九）に係る業務横領事件に關しては大連署司法係に於て吉富警部補がかゝりきりとなり十日も日曜日であるに拘らず午前十時より嚴重取調べを行つてゐるが手段方法頗る巧妙を極め內容また複雜してゐる爲め相當手古摺つてゐる模樣である、探聞するに同人の横領費消した

金額は 教職員の規約貯金一萬三百圓、保護者會積立金約一千圓、合計一萬一千三百圓と云はれ爲めに規約貯金、保護者會積立金は何れも殘額厘毛もない有樣となつた、同人は昭和五年四月前記小學校に事務員として雇はれ同六月ごろ妻女を離別したが空閨の淋しさに堪へず規約貯金並に積立金の事務管掌し居るを奇貨とし同九月ごろより之れを横領して遊里の巷に出入し曾ては平和街六八料理店出雲樓抱藝妓富士丸に馴染約二ケ月間同棲したる事もあり、その後も西檢、逢坂町遊廓、小崗子沙河口等の料理店を片つ端より泳ぎ廻り昨年三月倉井校長轉出し現越智校長來任に及んでも引繼簿を僞造して

表面を 胡魔化し更に改むる處なく流連荒亡を續け遂に前後數十回に亘り斯く大金を蕩盡した譯で今回再び行はれた教員の異動により操み戻して手渡すべき金に窮しいよく罪業を悟り意を決し八日夜大連署へ自首したものである、署では引續き取調べ中で司法刑事は全員總出となり西檢に逢坂地遊廓に小崗子、沙河口料理店にソレゾレ手分けし同人の遊興先調査のため活動を開始した

家宅捜査 僞造印押收 學校當局善後處置協議中

一方船曳刑事は午前十一時兒玉町三番地の同人官舍に至り家宅捜査の上現金約四十圓、革製折鞄、同人名義の正隆銀行預金帳ならびに教職員の僞造印約十箇、犯行用に供する僞造捺印の白紙その他を押收して正午引揚げた、尚規約貯金は滿洲銀行預けとなり此處より隨時引出したものであるがその犯行交渉に就いては銀行休みの爲めまだ不明である、また學校當局ではこれが善後處置について協議中である

用度對大商ラグビー戰引分

滿鐵用度對大連商業のセブンアサイドラグビー戰は十日午前十時五十分より大連運動場に於て森高氏審判の下にキックオフしたが三對三で引分けとなる

滿鐵用度（0—0、3—3）大商

それぐ異つた立場で 內地農民の滿洲移住研究

四專門家相携へてけふ來連

あめりか丸のお客様

十日大連入港の定期船あめりか丸で海外移住組合聯合會理事前知事梅谷光貞氏、山梨縣囑託若尾金造氏、東京帝大教授農博宗正雄氏、同講師折下吉延氏等が來連したが以上の四氏は大體滿洲において行動を共にしそれぐ異つた立場から內地農民の滿洲移住に就ての研究を行ふ筈である

梅谷光貞氏談

御承知の如く海外移住組合は全部政府が金を出してゐるのですが私は決して政府の命令で來たのではなく私の自由意志で視察に來たのです、何分大正九年に一度來たきりでしかも今や滿洲は形勢を一變しましたからやつて來たわけですが約一ケ月に亘つて南北滿洲を廻る積りです、そして將來開拓の餘地が多分に殘されてゐるのは北滿だと思ひますから特に北滿を充分に視察したい積りですが、出來得る限り滿洲國に對し日本民族發展上自分達は如何なる方法を執るのが適當であるかに就て研究を遂げたいと思つてゐます、內地農民の滿蒙移住熱は實に旺盛ですが移民といふ問題は實際問題として實に困難で治安や土地の位置等を充分に考慮しないと不可能であり、また政府が積極的に移民の保護政策をさらない以上成功は難かしいものです、然し滿洲は狀態も一變し商租權その他面倒な問題は今後は圓滿に解決を見ませうからさうした點での困難は完全に除去されませう

宗正雄博士談

滿洲は最初です、大學の命令で折下君と一緒に來たのですが幸ひ梅谷さん等とも一緒になりましたので多分行動を共にすることになりませう、私はその專門的な立場から日本農民の滿洲移民には如何なる土地でどうした組織の農業が必要であるかといふ點に就てその基礎調査を行ふことになつてゐます、勿論滿鐵で詳細な調査が出來てゐますがそれを讀んだだけではどうしても頭にはつきりと來ないしどうしても實地の調査が必要になつて來るのです、內地農民の移民熱は猛烈ですが具體化するうへには金が必要となりしかも一般に資本家の助は避けたいといふ希望でありますし、兎に角金をどうして作るかといふことでせう、なほ調査と共に卒業生の就職運動も依頼されてゐます

折下吉延氏談

私は農村經營、農村計畫といつた點を技術的に視察する積りです、滿洲は最初です

若尾金造氏談

現鐵道次官若尾璋八氏の實弟若尾金造氏は山梨縣にあつて獻身的に農村經營に當つてゐる熱心な農村政策の實際家であるが語る

山梨縣囑託として山梨縣農民の滿洲移民の根本調査を實際家の立場から行ひに來たのです、幸ひ權威ある人々と一緒になつたので行動を共にしたいと思つてゐます

滿鮮の工業視察へ

神奈川縣から

神奈川縣滿鮮工業視察團として同縣工業試驗場高田有吉、中村時定兩氏、橫濱輸出織物加工品同業組合高橋龜吉、山下知之兩氏と橫濱商工會議所平川亮司氏の五氏が十日入港あめりか丸で來連したが一行は語る

主要地では軍部と滿鐵に挨拶に伺ひますが視察が主要な目的です、橫濱の易品の滿洲方面への進展方策や橫濱での製品がどの程度まで滿洲ではけるかに就て約四週間滿洲各地を實際に調査するつもりです（寫眞は船上の一行）

宮崎縣出征軍人慰問使來る

宮崎縣出征軍人慰問使として宮崎縣會議員富田廣重、溪谷新平、井上宗吉の三氏が十日入港のあめりか丸で來連した

船車連絡旅客二十七名

內地定期船あめりか丸は十日午前六時すぎ旣に大連港外着七時埠頭に到着したが同船による船車連絡奧地行乘客は計二十七名で直に埠頭引込列車に乘車九時大連發急行で奧地に向つた、なほ連絡旅客は長春行が最多で十三名である

天氣豫報

十一日 南の風曇 驟雨模樣

	十日午前十時	昨日最低
大連	一〇、二	四、三
旅順	九、四	四、五
營口	八、三	〇、〇
奉天	九、四	〇、二
長春	六、九	零下二、六

故郷に飾る武勳の錦

けふ獨立守備隊の滿期除隊兵 五百七十一名元氣で大連到着

驛頭に搖ぐ萬歲の聲

滿洲事變勃發の當初北滿北大營の激戰に或は又酷寒零下三十餘度の朔北の深夜に銃をとり、或は暴虐限りなき安奉沿線の匪賊討伐に身を挺して滿洲の第一線を守つた獨立守備隊第一、第二、第四、第五の四個大隊の除隊兵五百七十一名は十日午前七時（四十五分遲延）及び八時着兩列車で錦を飾つて歸るべくその途路着連した、これよりさきこれ等

勇士が 武勳に輝く陸軍の戰を收めての目出度き凱旋を迎へんものと郷軍、多數の市民及び各男女中等學校、小學校の生徒等つめかけプラットホームを埋め列車の到着を待つ、兩列車プラットフォームに入るや幾千の出迎人は破れんばかりに萬歲を叫ぶ、列車の窓からは眞新らしい軍帽と軍服或は背廣又は紋服に着替へあふれんばかりの喜びの色をうかべた勇士が小旗を打ち振りながらこれに應へる、皆聲をからして居る、沿線各驛での歡迎に答へたためであらう、胸に輝く郷軍の徽章と新らしい

肩章が 燦々たる幾多の武勳を物語つて居る「獨立守備隊の歌」新らしく作られた「凱旋の歌」が各所で起る、これに和して起る萬歲の聲でしばし歡聲と亢奮その渦が卷く、かくて輸送指揮官の合圖で下車、故國へのお土產物を入れたらしいトラックを各中等學校生徒の手で運び兵站所支所の庭に一先づ落ちつき飯食をとり午後二時までの乘船の間を思ひ出深き滿洲の土地に最後の別れをすべく自由解散した

父母や妻子へ 慈愛の贈物？

けふ許りは陸海軍デー 賑つた大連の巷々

去る三日以來旅大に碇泊中のわが海軍聯合艦隊は愈々明十一日午前八時拔錨し、[illegible]四十七隻は威風堂々海を壓し[illegible]仁川を經て內地へ向ふこととなつた、十日はその最後の上陸日であつて午前七時より第二[illegible]以下二十二隻の半舷上陸を許され約三千五百餘名の海兵は喜び

勇んで 續々上陸、埠頭は日曜にも增して賑はつたが折から內地へ歸還する獨立守備隊の滿期兵も着連し、こゝにも彼處にも海陸の交驩が行はれいやが上にも皇軍萬歲の雰圍氣に市中は高調した、山縣通りから大廣場へ浪速町通りから連鎖街へと陸をたのしみ故郷への土產を求むる兵士の姿は三々伍々列をなしてその足どりの華やかさよ！手にさげた紙包みは彼等海の勇士の美しき情の表徵である、遠く內地に彼等の歸りを待つ

故郷の 父母或は妻子への慈愛の贈り物？ペーヴメントを闊歩する彼等の靴音高らかに港の春風は彼等の心を躍らせる、歡へ歡へよ、彼等の艦を！彼等は今旅大の地に別れを惜んで最後の五分間を樂しんでゐる樣に見える、瞬間の融和は美しい情緒である、彼等はやがて正午、名殘を惜んでそれぐの艦に歸艦する、埠頭は歡送の市民で埋められる軍帽を振りハンカチを振つて別れる哀愁！彼等は遂に去る

市中に 一抹の寂寥を殘して……後には歡聲と惜別の民衆の聲が港の風にのつてこだまする、なほ今日上陸した海兵は一部を殘して殆ど全部は正午にそれぐ所屬艦に歸還し午後五時には殘りの全部も恙なく引き上げてしまふ筈である

警察官隊は無事 吉林に歸着

共產黨員逮捕のため盤石縣に出張中であつた、吉林總領事館警察署田中署長以下三十五名及び八日吉林發田中署長一行との聯絡を保持するため出發した松田部長一行等の警察官の動靜については八日午後一時に至り安全なる旨判明、九日午後一時全部吉林に無事歸着した尙共產黨員の爲め破壞された鐵道も電信電話も九日午前十時復舊開通を見るに至つた【長春電話】

武門血笑記 (111)

下村悦夫作　布施長春挿畫

路傍の話（一）

絲つさ照り上つた土用近い夏の日差しは、ギラ／＼さ照り附くやうに、ずつさ商家の立並んだ神田今川通りの賑やかな町筋を照らしてゐた。

白井作樂は、その烈しい日差しを避けてやつさ日陰の出來た許りの商家の軒の下に沿つて、路の片側を、急ぎ足に歩いてゐた。

町人髷に、前垂れ掛け、小脇に萌黄の風呂敷に包んだ刀箱を抱へてゐる仔細らしいその樣子は、どう見ても刀屋の番頭か手代さ云つた恰構。

作樂は、今日も山の手邊の大名屋敷を、或用件で二三軒、馳け廻つて來たその歸り途であつた。

路上では、日盛りださ云ふのに町人、小者、小僧、飛脚屋、下女浪人者、さうした人々が、汗をだく／＼さ流しながら、周章しさうに往來してゐた。作樂は、見るさもなしに、その雜沓の樣子を見ながら、心の中で考へつゞけてゐた（こんなに忙しさうに雜沓してゐるが、今に討幕の大軍が押し寄せて來たら、この江戸の町はどうなるだらう）

作樂は半ば憐むやうな目付で、往來してゐる町人どもの姿を見た

「いや、何事も時の力ぢや、今日會つて來た薩藩の同志の話でも、薩長藝の討幕聯盟は、確なものだが、それにしても、他の大名達のあの引込みの附かぬ態は何だ、ごんな風に諸藩が態度を決定するか？ごんな風に世の中が變つて行くのか？」

作樂の若年らしい空想は、それから夫へさ飛んで行く――。

さ、今しも作樂が鍛冶町通りの二丁目まで來た折り。横さ横町から出て來て、作樂の視線を掠めた人物――。

（目明しの勘五郎だ！）

作樂はこう思ふさ同時に、咄嗟に反對の町角を曲つて、後も見ずに足早に十間あまり來るさ、またふいさ、横町の小路に外れ、隱密に小さな迺りを彼方に抜け、此方に抜けて居る内に、ふいさ出て來た柳原川岸。

作樂は思ひ切つて、後を襲つて見たが、それらしい男もない。

「もう大丈夫だ」

心の中でこう呟くさ、汗でだく／＼になつた身體を一休みさせやうさ、柳の木の木陰にあるところてん屋の葭簾張の小屋へ入つて行つた。

「お親爺、冷たい處を一本おくれ」

さ、作樂は江戸前の句調

「へえ、有難うございます、どうも、ひでえ暑さで」

作樂はところてん屋の親爺のお世辭を聞流して、床机に腰を下すさ、懷から手拭を出して汗を拭つた。

さうして、親爺が皿に入れて差出したところてんを一口ぱつくりさ頬張つた丁度その途端、葭簾張りに黒い人影が差して、

「親父、暑いのにおせいが出るれ」

さ、云ひながら入つて來た勘五郎。

「お、、こりや松住町の親分、お久うございます、さあごうぞ」

さ、ところてん屋の親父が遑ひつくばふやうにして云ふのを

「いや、構はれえで置きな、一寸休ませて貰うだけだから」

さ、輕く押へて、作樂の方へ視線を移すさ、にこ／＼笑ひながら

「旦那、ひどく歩かせるぢやありませんか、すつかり、草臥ちつやつた」

さ、作樂の掛けてゐる床机の隣りに、どつかりさ腰を下した。

古賀聯隊

東活超特作品　大日活上映

物凄い戰爭記錄映畫である日本映畫史に記錄さるべき意義深き記錄映畫の凱歌である、この作品はごうして斯くまで素晴らしい記錄映畫さしての成功を納め得たか、これは一に關東軍司令部の後援さその正しき指導精神によるものださ言ひたい、關東軍司令部第四課の監修に當つた人々の努力の結晶である、勿論ガッチリした井手錦之助監督の手法さ本多技師のカメラさ出演俳優一同の熱演による所も多いが、この一篇が斯くも記錄映畫さして成功したのは繰返して言ふが正しき指導の賜物である、それに錦西の戰跡にロケーションした强味も見逃せないところで、ロケーションの强味を充分味はされる作品である

從來の滿洲事變映畫中、內地で製作されたセット中心の撮影は滿洲に對する認識不足も手傳つて、在滿邦人には何等の迫眞性無く徒らにお芝居を見せられたに過ぎなかつたが、この一篇は物凄い迫眞力を以て我々在滿邦人の胸に迫り來るものがある

その第一は關東軍の後援を得て遼西の凍原に自由自在に騎兵隊の特別出場を得て之をクラスクレ、日本の戰爭映畫に嘗て見ざる騎兵隊の嵐の如き襲擊、突貫をスクリーンに描き得た事である、演習映畫のネガを使用したやうな手緩さがない出場者は正義の銃をさつて遼西の凍原に奮戰したわが勇士の姿である

また關東軍で立案されたゞけに原作が實戰を基礎さしたガッチリしたものである上に、井手監督の脚色もよく芝居氣を離れたところに實戰らしい重味さ緊張して氣持の良いシナリオさなり、古賀聯隊の奮戰を弔ふのに適はしいものがあり、出演俳優一同の熱演も亦實に氣持よくその中でも南光明の古賀聯隊長は全く適役で光つてゐる、その他エキストラのモップ・シーンも相當手際よく指導されてゐる

この一篇こそは恐らく東活始まつて以來の傑作品であり、同時に映畫報國の意義を高調した作風を示した誇るべき時局軍事映畫さして推賞さるべき作品である

『古賀聯隊』の讀者優待映畫會

明日から大日活にて

東活撮影隊が關東軍司令部指導の下に遠く來滿して決死的ロケーションを敢行して完成した井手錦之助監督南光明主演作品「古賀聯隊」は在滿邦人必見の映畫さして廣く之を紹介するために本社主催で既報の如く十一日から晝夜二回大日活にて觀賞會を催すが、同時に大衆的時代劇作品さして好評の大衆文藝映畫本田美禪原作後藤岱山監督尾上菊太郎主演歌川絹枝助演「松蔭時雨」江戸篇及び新興キネマ現代劇作品入江一夫原作脚色木村莊十二監督狂兒主演徳川良子助演「陽氣な食客」を上映、入場料は一般階上七十錢、階下五十錢、本紙刷込み優待券を持參すれば階上五十錢階下三十錢に割引する

◇◇南光明の古賀聯隊長◇◇

東活軍事映畫「古賀聯隊」の古賀聯隊長に扮して南光明が悍馬に跨つて遼西の凍原に物凄く活躍してゐる（大日活上映）

『古賀聯隊』映畫會　讀者優待割引券

この券持參者は階上五十錢階下三十錢に割引します

主催　滿洲日報社

『古賀聯隊』映畫會　讀者優待割引券

この券持參者は階上五十錢階下三十錢に割引します

主催　滿洲日報社

噂話

寶館が昨日から「空閑少佐」を封切したのをキッカケに明日から大日活で軍事映畫中の巨篇「古賀聯隊」▲また十四日からは帝國館が「血染の鐵筆」中央映畫館が「滿洲行進曲」さ來週は軍事週間さなる▲それに面白いことは帝國館が大每、コロムビアで中央映畫館が大朝、ビクターの對立さなり▲双方負けず劣らずタイアップの賑やかな宣傳戰になるらしい▲常盤座の河合ダンスは晝夜二回興行の豫定だつたところ▲全國ごこでも晝間興行をしたことがないさ、向ふから毎日午後六時開演さ印刷したビラを送つて來た▲この人氣の强さには常盤座も顔負けの形であるが、その上常盤座の入場料が安過ぎるさ苦情が來てゐる▲大日活をやめた石川天崖クンが組合館の世話で中央映畫館入りに内定したさか

TRADE MARK
登錄商標
味の素
專賣特許
AJI-NO-MOTO
ESSENCE OF TASTE
登錄商標
味の素
調味精粉
MANUFACTURED BY
S.SUZUKI&Co., LTD.
TOKYO JAPAN
宮內省御用達
株式會社鈴木商店